

# ひらかわ

2007年版 平川市 市勢要覧

Hirakawa City Guide Book



# Contents

# HIRAKAWA

- 1 市長あいさつ
- 2 市のプロフィール
- 3 合併までのみちのり
- 4 旧3町村のあゆみ
- 6 特集「平川市誕生とともに」
  
- 7 いきいき農業のまち
- 8 美しいわがまち
- 10 あずましのまち
- 12 いにしえより【歴史・文化】
- 13 躍動のまつり
- 15 ふるさとをどうぞ
  
- ひと・地域・産業がきらめくまちをめざして(施策概要)
- 16 こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり【教育・文化】
- 18 集いと元気あるまちづくり【参加・協働】
- 20 お互いが支え合う共生のまちづくり【保健・医療・福祉】
- 22 やすらぎとぬくもりを感じるまちづくり【自然環境・生活環境】
- 24 うるおいと活力に満ちた産業のまちづくり【産業・経済】
- 26 便利で快適に暮らすまちづくり【都市基盤・情報通信】
  
- 29 ひらかわデータ編

## ごあいさつ

平川市の誕生は、平成の大合併も一巡した頃、青森県南津軽郡の平賀町・尾上町・碓ヶ関村の3町村が合併し、平成18年1月1日に県内で第10番目の市として産声をあげました。合併に伴い、市の区域は、総面積345.81Km<sup>2</sup>と拡大し、各町村が保有してきた自然や歴史をはじめ、悠久より育んできた伝統・文化も市民が共有する財産として引き継がれました。

「平川」がつなぐ平川市となった今、3町村の融和・一体化に努めることが重要課題であり、「中央から地方へ」「官から民へ」の構造改革の流れの中で、自らの意思と行動力で地域の自立を実現することが求められています。『人、地域、産業がきらめくまち』を基本理念とし、多くの資源とともに住民一人ひとりの英知を生かし住民本位の行政運営、自立した地域づくりを目指しています。

平川市は、今、平川市らしいまちづくりの第1歩を踏み出したばかりです。この要覧により、当市への現状をご理解いただくとともに、皆様方からの温かいご支援、ご協力を賜れば幸いに存じます。



平川市長  
外 川 三千雄



# 市のプロフィール

## 沿革

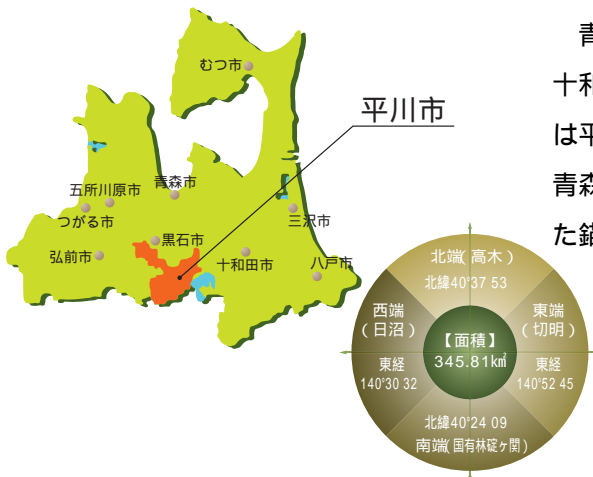
HISTORY

旧石器時代・縄文時代から近世にわたる遺跡が各所にあり、いたるところで先人の足跡がうかがわれます。発掘調査の結果、この地域における稲作文化はおよそ2000年前より今日に伝えられており、古来より肥沃な穀倉地帯として栄え、発展してきた経緯があります。

現在の平川市は、鎌倉時代に区分された「平賀郡（ひらかごおり）」に属しており、津軽4代藩主信政公により、「郡（ごおり）」を「庄（しょう）」と替え「平賀庄」「田舎庄」「鼻和庄」の3庄をもって「津軽郡」となり、「平賀庄」として明治新政に至るまで続きました。

明治時代の町村制施行以降「大光寺町」「柏木町」「竹館村」「町居村」「尾崎村」の2町3村が合併し、昭和30年3月1日に「平賀町」が誕生、「尾上町」「猿賀村」の合併により昭和30年1月1日に「新尾上町」が誕生しました。「碓ヶ関村」は、明治22年4月1日の町村制施行により「碓ヶ関村」「古懸村」「久吉村」が合併した時から誕生し、100年を越す伝統的な村でした。

度重なる町村合併を繰り返し、平成18年1月1日に「平賀町」「尾上町」「碓ヶ関村」の2町1村が県内で有数の大きな面積と人口数を誇る「平川市」として誕生しました。



## 位置

LOCATION

青森県南部、津軽平野の南端に位置し、東は十和田湖を境にして十和田市、秋田県小坂町、西は平川を隔てて弘前市、大鰐町と接し、北は、青森市、黒石市、田舎館村、南は秋田県に接した鉤型をなしています。その総面積は345.81km<sup>2</sup>を有しています。

広ぼう(広がり)  
東西 / 31.3km 南北 / 25.4km

市役所本庁舎位置  
東経 / 140° 33 59 北緯 / 40° 35 03 海拔 / 43m  
数値は、世界測地系による(国土地理院)

## 交通アクセス

平川市役所(本庁舎)へ

飛行機 / 「青森空港」より車で40分

バス / JR「弘前駅」より弘南バスで約30分

電車 / JR「弘前駅」より、弘南鉄道弘

自動車 / 東北自動車道「大鰐弘前IC」より10分

南線で15分、「平賀駅」下車

## 地勢

TOPOGRAPHY

当市の地勢は、平地、台地、山地の3種類に大別されます。津軽平野の一部で市街地が形成されており、水田地帯として利用されている平地は、肥沃な沖積土で岩木川水系の平川とその支流である浅瀬石川の2つの川の恵みを受けています。緩やかな傾斜地から台地では主にりんご栽培が盛んに行なわれています。また、市の総面積において約7割を占める山林は、そのほとんどが国有林となっており、櫛ヶ峰(標高1,516m)を中心とした南八甲田連邦の山地には、湿原地もあり、その美しい自然環境は十和田八幡平国立公園に指定されています。山間部には川が多く、上流には溪流や数々の滝がみられます。

# 合併までのみちのり



第1回合併協議会開催

できごと

TOPIX

- H16年
- 10月29日 「平賀・尾上・碓ヶ関合併協議会（法定の合併協議会）を設立
  - 11月13日 第1回合併協議会開催（事務所の位置を「現平賀町役場」に決定）
  - 11月22日 第2回合併協議会開催（合併方式を「新設合併」、「市制施行」に決定）
  - 12月 4日 第3回合併協議会開催
  - 12月18日 第4回合併協議会開催（合併期日を「平成18年1月1日」に決定）
  - 12月27日 県より合併重点支援地域に指定（平賀町、尾上町及び碓ヶ関村の区域）される
  - 12月27日 第5回合併協議会開催

知事から  
廃置分合の  
決定が  
通知される。



H17年

- 1月14日 第6回合併協議会開催（新市の名称を「平川市」に決定）
- 1月28日 第7回合併協議会開催
- 2月 8日 第8回合併協議会開催
- 2月26日 第9回合併協議会開催
- 3月 5日 合併協定調印式開催
- 3月17日 尾上町、平賀町、碓ヶ関村各町村議会において「平川市」新設合併議案提案可決
- 3月24日 廃置分合申請書を県へ提出
- 4月27日 第10回合併協議会開催
- 6月29日 第11回合併協議会開催
- 6月30日 県議会第242回定例会において、市町村の廃置分合議案可決  
知事から廃置分合の決定が通知される
- 7月21日 総務大臣告示
- 9月30日 第12回合併協議会開催
- 11月 4日 第13回合併協議会開催
- 12月 2日 第14回合併協議会開催

平賀町閉町式



尾上町閉町式



碓ヶ関村閉村式



H18年

- 1月 1日 合併 平川市制施行

平成18年1月1日日本庁舎前にて開庁式  
テープカット

# 旧3町村のあゆみ

## 平賀町

HIRAKA



〔昭和39年6月制定〕

横一文字の配列は津軽平野をあらわし、円は町内の融和を、更に両端の突出は町の発展を象徴し、新興「ヒラカ」町の躍進を期待したものです。

旧石器時代から近世にかけての遺跡が、東部山間と平野の漸移地帯に多く分布していることが判明しており、西に津軽平野を控えたこの地は、古来より人間生活の場として最適な条件を満たしていたことが理解されます。

鎌倉時代に入ってから、幕府の御家人である曾我氏が津軽に派遣され、先に岩館（楯）に居城して「平賀郡」と呼ばれたこの地一帯を統治し、後には大光寺にも進出し山手一帯を支配下に組み込んでいきました。

その後、南部氏の支配を経て天正年間には、津軽為信によって平賀郡一帯が平定（乱をしずめる）され、その支配下に置かれています。藩政時代には、平賀郡は「平賀の庄」と改められ、弘前藩に属し、尾崎組、大光寺組、大鱧組にそれぞれ編入されました。

### 町の起り

鎌倉時代に、この土地は、平賀郡となり、その後平賀の庄となっていますが、地名の語源は、判然としていません。昭和2年弘南鉄道株式会社が創設され、現在の本町に本社並びに駅を設け「平賀」と命名し、平賀町物産の発送駅として全国にその名を知られていました。その後、黒石警察署平賀派出所（現在平賀交番）や青森銀行平賀支店等各官公庁、団体はすべて平賀の名称を冠し、合併に際して平賀の町名を用いることに一人の依存がなかったといわれています。

### 町村制施行から現在まで

明治22年4月1日

- ・大光寺、本町、小和森、館田、苗生松、松崎、館山、松館、杉館、荒田の10ヶ村をもって、大光寺村を設置。
- ・柏木町、石郷、原田、岩館、石畑、小杉、大坊、四ツ屋、吹上、高畑の10ヶ村をもって柏木町村を設置。
- ・唐竹、沖館、広船、新館、小国、葛川、切明の7ヶ村をもって竹館村を設置。
- ・尾崎、新屋、町居、平田森の4ヶ村をもって尾崎村を設置。

明治28年1月22日 尾崎村大字町居が、竹館村に編入変更後、明治34年7月21日に竹館村から分離独立して、町居村が設置。

昭和4年7月1日 柏木町村、昭和18年4月1日大光寺村が町制施行し、2町3村が誕生しました。

昭和30年3月1日 大光寺町、柏木町、竹館村、尾崎村、町居村の2町3ヶ村を廃止して全区域をもって平賀町を設置し、その後、平成18年1月1日に合併するまでの51年間10ヶ月の長きにわたり津軽において、最も気候・風土に恵まれた穀倉地帯といわれ、農耕発祥の歴史と伝統を守り続けてきました。

## 尾上町

ONOE



〔昭和35年3月制定〕

図案は、町名の「尾」の字を猿賀神社の鷲にあしらひ、「上」の字を丸くして名産のリンゴを象徴、尾の字をかこんで団結と飛躍的發展をあらわしたものです。

古い記録によると、金田村の区域は、津軽郡平賀の庄大光寺組に属し、猿賀村及び尾上村の区域は平賀の庄猿賀組にそれぞれ属していました。

明治6年行政区が改定され、県下第2大区第7小区（旧金田村は第8小区）の区域に入りました。同16年尾上、高木、久米、追子野木と浅瀬石村大字中川（現在の黒石市）が連合して18組となり、南田中、金屋、李平、新屋町、中佐渡、長田と旧平賀町大字平田森、荒田の8ヶ村が連合して21組となり、原、猿賀、八幡崎、西野曾江、新山、蒲田、日沼、大袋が連合して17組にそれぞれ分けられました。明治22年初め町村制に改められ、尾上村、高木村、追子野木村の3ヶ村をもって尾上村に、南田中村、金屋村、李平村、新屋町村の4ヶ村をもって金田村に、原村、猿賀村、中佐渡村、長田村、八幡崎村、西野曾江村、新山村、蒲田村、日沼村、大袋村の10ヶ村をもって猿賀村となりました。

### 町の起り

「尾上」は江戸時代、近江の商人によって猿賀村の新田として開拓されました。猿賀住人の氏田弥左衛門と作兵衛（のちの清藤半十郎）の2人が、猿賀村領の東端に、「自費を投じて派（新村）を取り立て、3ヵ年の作取ならびに諸役を免ぜられ、のち両人の努力により家数も次第に増え、貞享年間には94軒を数えた」と言われています。初めは猿賀新田村などと称されました。

が、津輕藩3代藩主信義によって、天保元年（1644年）に尾上村と改められ独立した一村になったと伝えられています。

「尾上」の語源については、謡曲「高砂」に謡われた相生霊松「尾上の松」の故事にちなんだ好字嘉名（縁起の良い名前）であり、当時この地に雌雄一根から生じた巨大な双幹の松（相生の松）があったといわれます。「高砂」にある尾上神社（現在の兵庫県加古川市）の境内には、相生霊松「尾上の松」があり、尾上の松は、古来から様々な歌に詠まれてきており、「相生の松」は永遠・長寿・夫婦和合を象徴することから、引用して「尾上」と命名されたものであると伝えられています。

#### 町村制施行から現在まで

明治22年4月1日 町村制に伴い、尾上村、金田村、猿賀村に3ヶ村に統合されました。

昭和12年4月1日 尾上村と金田村が合併により町制を施行し、尾上町が誕生しました。

昭和30年1月1日 尾上町と猿賀村が合併し、新しく「尾上町」が発足しました。

昭和31年8月10日 大字大袋が分町し田舎館村に、同年10月1日大字追子野木・久米が分町して黒石市にそれぞれ編入されました。

昭和34年6月10日 田舎館村大字大袋字塚越の一部が境界変更によって尾上町大字日沼に編入されました。南田中では、イグサを水田に栽培し、ゴザ・ホウキなどで有名となり、以降苗木など各種物品の行商に力を入れてきました。金屋の傾斜地一帯ではりんご栽培により経済力が上がり、農家は富の象徴として、競って蔵を建てました。平成18年1月1日に合併して平川市となるまでの46年と7ヶ月の長きにわたり、豊かで魅力のある、歴史と農村景観を重視したまちづくりを大切にしてきました。

## 碓ヶ関村

IKARIGASEKI



〔昭和42年5月制定〕

三つの輪は、知（ち）情（じょう）意（い）の三つの演奏を現し、知は教養を高め、情は愛情互助の精神を意味し、意は積極的に行動し、勇気をもってこれに当たるという人間づくりの三要素を象徴しています。また、碓ヶ関村は三集落から構成されているところから、三つの輪は、集落が互いに和合し、相協力して碓ヶ関村が総合的な発展をすることを記念したものです。

初代津輕藩主津輕為信公は、秋田比内の浅利城主を襲うために、険阻な矢立峠を切り開いて、秋田へ通じる道筋をつけて関所を設け、碓ヶ関の由来とともに奥州街道の布石となりました。江戸幕府は、参勤交代の公道に決めて、碓ヶ関に関所を移転し、番所・町奉行を置き、御飯屋を新築するなど、多くの役人を配置し、取り締まりあたらせ、町割を行なった以来、関所のある宿場町、交通の要衝として繁栄しました。明治政府は、碓ヶ関関所を廃止し、同年6年(1873年)3月青森県下10大区、72小区に分割しました。碓ヶ関は、第2大区（現在の黒石市）11小区（当時は宿川原村）、古懸村、碓ヶ関村、久吉村、大鰐村、蔵館村、苫木村、長峰村、杉浦村、唐牛村、虹貝村、早瀬野村、島田村及び駒木村の14村に属していました。岩木川一支流平川に沿った山間の地にあることから、近代まで、水害と戦うあゆみでもありました。

#### 村の起り

「敏達天王の代に、津輕に『白鬚水』という山津波が起き、この時、船で往来し船を繋いだ地を碓沢と呼び、村が出来て碓ヶ岡と呼んだ。その後初代津輕藩主津輕為信が関所を設けた時に、碓ヶ関と改められた。」（古懸の国上寺境内にある不浪寄八幡宮の縁起による）

碓ヶ関村発祥の地は、古懸地区の台地の縁に沿った永野、大面、古館の地区であり、5～6千年前の集落の遺跡や平川から運んだと思われる石も出土しています。碓ヶ関に遠見番所が作られた時には、この古館から通っていたという文書があります。

河岸段丘にある集落という意味の「イカリ」がいつしか「碓」という漢字があてられ、船の碓と関係付けられてしまったと考えられた説や、昔から洪水に悩まされてきた土地柄、水が起る土地ということから「いかりの里」といわれたなどの説もあり、伝説として歴史の謎を秘めています。

#### 町村制施行から現在まで

明治22年4月1日 碓ヶ関、古懸、久吉の3大字を統合して碓ヶ関村が誕生。

明治28年 弘前～碓ヶ関間の国営鉄道（現在のJR）が開通し、碓ヶ関駅が設置。

昭和61年 青森～浦和間の東北縦貫自動車道が全線開通し、碓ヶ関ICが設置。

平成元年4月には、町村制施行100周年を迎えた伝統ある村であり、平成18年1月1日に合併する現在に至るまで、交通の要衝の地であり、津輕観光の玄関となっています。

関所の設置について……関所の起源については、大化2年（646年）に朝廷が畿内の防衛のために作ったものですが、延暦8年（789年）に国内が安定すると、廃止されました。平安時代中頃になると、港や河川を通る品物から勘過（よく調べて通すこと）料を取ることを目的に再開されました。簡便に金銭が徴収出来ることから、港、河川、道路などの要衝に関所が設けられました。碓ヶ関の関所は、津輕為信によって作られたといわれていますが、それ以前に土地の豪族が十三湊から遊航し、平川の終点が碓ヶ関でした。

# 特集「平川市誕生とともに」

平川市誕生の合併元年（H18.1.1～H18.12.31）には、234人のあちゃんが誕生しました。おめでとうございます！

この子ども達と一緒に平川市も成長を続け、大きくなった頃には、生まれてよかった。住んでいて良かった。と思えるような“まち”をみんなで作っていきましょう。

写真を掲載した方は、平成19年6月広報にて募集したところ、応募していただいた方です。

地区  
生年月日  
撮影時期  
コメント



かとう あきこ  
加藤 瑛子  
ちゃん

誕ケ関  
H18年1月3日  
H19年7月  
パワフルな3女です。



こもり みつき  
小森 光稀  
ちゃん

李平  
H18年6月13日  
H19年6月  
お兄ちゃんといつまでも仲良くね！



さいとう しょうや  
齊藤 翔哉  
ちゃん

猿賀  
H18年4月17日  
H19年4月  
ピリーズブートキャンプが大好き！とても元気で活発なかわいい息子です。



たてした ひなの  
館下 陽奈乃  
ちゃん

松崎  
H18年2月13日  
H19年3月  
ダンスが大好きなひなのちゃん、明るく元気な女の子になってね！



きむら こう  
木村 昊  
ちゃん

高畑  
H18年8月24日  
H19年4月  
お父さんのように、大きくなると美味しい子になってね！



# いきいき農業のまち

基幹産業が農業であるわがまちの主要な農産物は、りんごと米です。山間部においては高原野菜、津軽愛情牛の生産にも力を入れています。地産地消や特産品のブランド化を推進するとともに、消費者が望む「安全・安心」で「売れる」農産物づくりを目指しています。

## Agriculture



都市と農村の文化、交流を図るため、修学旅行生などを受け入れし、グリーンツーリズムに取り組んでいます。

## Green Tourism



## Highland Vegetables



冷涼な気候と、広大な土地を生かし、品質の高い高原野菜を生産しています。

## Dairy Farming



緑に囲まれ、自然豊かな大地の中で、安全安心を育てています。

# 美しいわがまち



猿賀公園・桜が見頃



温川溪流



盛美園



自然の森



白岩森林公園



岩淵公園・紅葉



雪の中、春にむかって準備中のりんごの木



夕陽が美しい岩木山



日本名水百選・渾神の清水(いがみのしっこ)



猿賀公園・咲きみだれる蓮の花

# あずましのまち

## 温泉

ゆったり。まったり。気持ちいい。湯量豊富で、質の良い温泉が市内の至るところに、点在しています。

特に碓ヶ関地域の温泉は、「なんざも効かぬ関の湯っこ」として、津軽藩の殿様が独り占めしようとして、逆に言っていたほどの良さです。

市内の温泉めぐりスタンプリー「ひらか種！入浴ラリ」を開催しています。



御飯屋御殿



大名足湯にごきげんアメリカンメーン州カムデンからのホームステイの生徒たち



# 生け垣

自然がいつぱい、緑豊かなまちです。都市計画区域内においても、景観・情緒・まちなみづくりを大切にしています。

古くから、造園業も盛んで、生け垣の整備・保存にも力を入れています。また、庭園も美しく手入れされており、尾上地域においては、個人所有で目頃は見ることのない庭園を見て回る「旧家・庭園・蔵めぐり」というイベントを行なっています。金屋地区は、蔵保存に力をいれており、貴重な農家蔵文化の素晴らしさを後世に伝えていきます。



# 御関所

津軽藩祖為信公は、秋田比内の浅利城主を襲うため、険々な矢立峠を切り開いて、秋田県へ通じる道筋をつけて関所を設け、奥州街道の布石となりました。昭和59年（1984年）に、復元された関所は、平成12年（2000年）にオープンした道の駅いかりがせき「津軽 関の庄」文化観光館や特産品特売所、温水プール（ゆうえい館）温泉施設（御仮屋御殿）に移設され、現代の関所として、多くの観光客でにぎわっています。



## いにしえより【歴史・文化】

## 曾我氏の板碑（市指定文化財）



鎌倉時代初期に地頭代として当地に派遣された曾我氏の板碑で、4基存在しています。そのうち3基は嘉歴2年4年（1327年）1329年）、貞和2年（1346年）の年号が確認されており、当時の歴史と宗教を知る上で貴重な資料となっています。

・所在地：岩館村元13

## 菩薩座像（県指定文化財）



美濃の国の僧「円空」の作。当市においては、数少ない造立年号のはっきりしている仏像で、歴史的価値が高いものです。

・所在地：  
沖館宮崎  
266-3  
(神明宮)

## 鱧口（県指定文化財）



正長2年(1429年)の銘があり、市内最古の鋳造物。県内でも、深浦町円覚寺の鱧口、弘前市の長勝寺の梵鐘に次いで古いものです。

・所在地：広船広沢89-2(広船神社)

## 獅子踊ーししおどりー（県・市指定無形文化財）



広船組

古来より五穀豊穡・祖霊崇拜・悪疫退散等を目的に伝承されてきた民族芸能で、市内には9組（八幡崎・広船・尾崎・新屋・町居・沖館・石郷・大光寺・古懸）の獅子踊りが伝えられています。八幡崎・広船・尾崎・古懸組の踊りは県無形民俗文化財、その他も市指定無形文化財に指定されています。

毎年旧暦の8月15日には、猿賀神社にて「猿賀神社大祭奉納 県下獅子踊大会」が開催され、笛、太鼓、鉦の囃子に合わせた勇壮な踊りを披露しています。

## 盛美園（国指定名勝）

清藤家24代盛美が小幡亭樹匠宗を招き、明治35年から9カ年を費やして作庭した、面積1.2ha池泉回遊式の大石武学流を代表する名園です。京都「無隣庵」、「清風荘」とともに明治の三名園の一つに数えられています。一角にある盛美館は、一階が純和風、二階が洋風の和洋折衷の珍しい建物で、庭園と融合した独特の美しさがあります。

・所在地：猿賀石林1



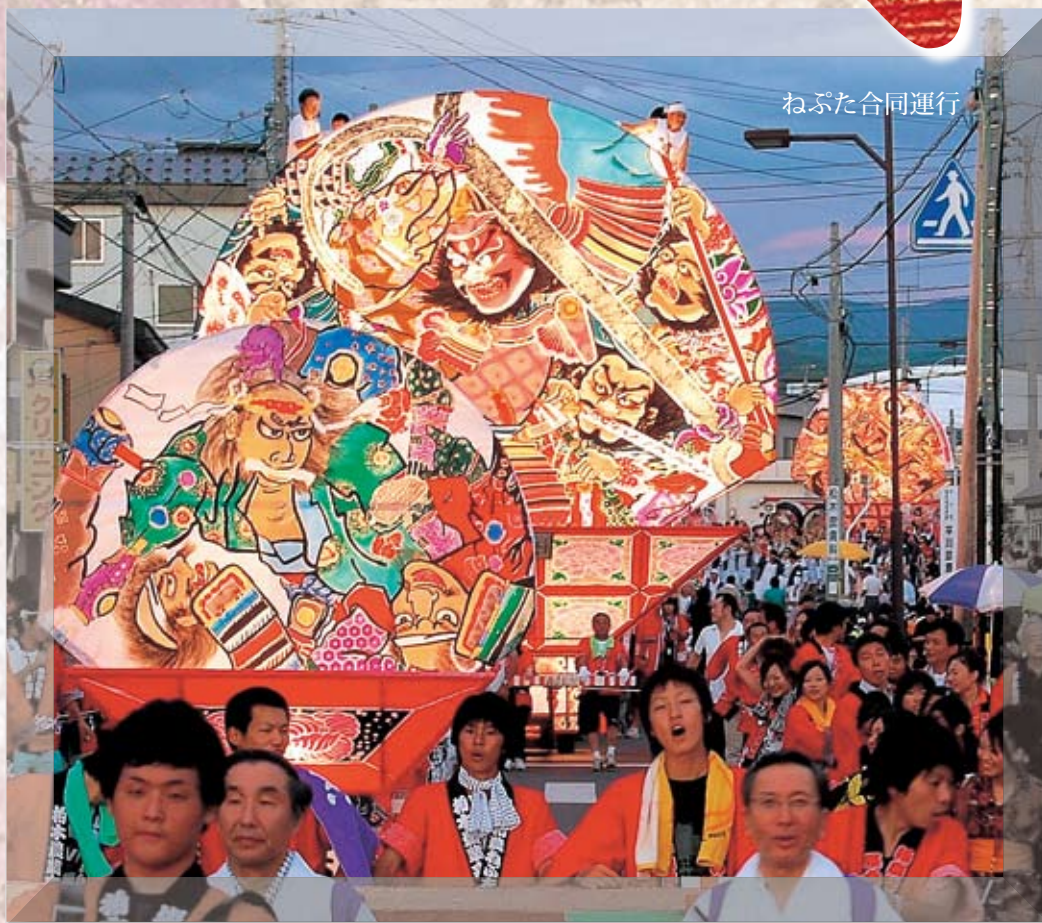
## 清藤氏書院庭園（国指定名勝）



清藤家本邸の書院庭園。東西に細長い鑑賞式枯山水庭で、東南隅に枯滝石組を組んでおり水が二筋に分かれる仕組みとなっています。石組は、さほど高くないが迫力があり、庭の主景をなしています。また、枯池の岸は低い平石組をめぐるしています。大石武学流定型化の先駆をなす庭として名高いものとなっています。江戸末期ごろの作庭とみられます。

・所在地：猿賀石林1

# 祭



## 躍動のまつり



# 祭・イベント・年間スケジュール

## 1 おのえ花と植木まつり

時期 場所  
4月下旬～5月上旬 猿賀公園

## 2 ひらか和！入浴ラリー

時期 場所  
5月下旬～9月末 市内参加温泉施設

## 3 白岩まつり

時期  
5月下旬

場所  
白岩森林公園



## 4 旧家・庭園・蔵めぐり



時期  
5月下旬

場所  
尾上地域



## 7 御関所まつり



時期  
8月中旬

場所  
碓ヶ関ふれあい広場

## 8 猿賀神社七日堂大祭



時期 場所  
旧1月7日 猿賀神社

## 5 たけのこマラソン



時期 場所  
6月 第4日曜日 碓ヶ関中学校グラウンド

## 9 平賀はしご酒まつり



時期 場所  
2月上旬 市内参加飲食店





# ふるさとをどうぞ

物産・特産品

ラインナップ

平川市物産・特産品



## 1 サンフジ・金星・王林詰合せ

生産者の目で納得したりんごをお届けします。3種類の異なる味わいをお楽しみください。  
広船アップルクラブ 広船福田 141-4  
場3088 / 助場5624

## 2 津軽塗

津軽の人々に流れる素朴さやおもいやりがあふれる津軽塗。箸、茶托などにその想いが伝わります。  
こまや漆器 日沼高田 174-1  
姫4771 / 助場4822

## 3 手作り味噌

国内産大豆・県内産米を100%使用し、昔ながらの手作りにこだわっています。自然の味をそのまま活かし、現代の嗜好に合わせ、味噌本来の自然な風味・栄養ともに豊かな味噌です。  
工藤靴や 唐竹堀合 115-14 ・助場2071

## 4 リンゴカレー・焼きりんご・すこやか果実

りんごカレー・焼きりんご・すこやか果実等、青森県産にこだわった商品です。  
榊木村食品工業 李平上安原 2-19  
姫2731 / 助場2641

## 5 にとりん

健康に良いと言われるにんじん・トマト・りんごをミックスしたヘルシーなジュースです。  
津軽田園開発リース(有) 館山板橋 14  
・助場2215

## 6 うす紅の彩り

青森県産のりんご「紅玉」だけを使って輪切りにし、独自の方法で乾燥させた生のりんごの色、味をそのまま届けるお菓子です。  
小田桐製菓工業(株) 日沼高田 30-11  
姫5611 / 助場5622

## 7 りんごドレッシング(ノンオイル)

おろしりんごがたっぷり入ったドレッシング。サラダはもちろん冷たい肉料理にかけると一段と味を引き立たせます。  
カネシヨウ(株) 日沼高田 30-12 姫2121

## 8 りんごパーモンドしょうゆ

本醸造しょうゆをベースにりんご酢、りんご果汁、ハチミツを加え熟成させた塩分ひかえめのしょうゆです。  
カネシヨウ(株) 日沼高田 30-12 姫2121

## 9 桶造りりんご酢

りんごをすりおろして発酵し更に木樽にて長期熟成させ、りんごの成分を凝縮したコクや風味のある、こだわりのりんご酢です。  
カネシヨウ(株) 日沼高田 30-12 姫2121

## 10 ハチミツ入りりんご酢

桶造りりんご酢にハチミツを加えたアルカリ飲料です。水・牛乳などお好みにミックスしてお飲みいただけます。  
カネシヨウ(株) 日沼高田 30-12 姫2121

## 11 りんごっ子

りんご果実入りの黄身餡をパイで包みました。

### れんこん万頭

れんこん入り味噌あんを包んで焼き上げた焼菓子です。

### 発芽玄米チョコ

発芽玄米のチョコを俵型のお米の皮で包みました。農家蔵のイメージ菓子です。  
古川菓子舗 尾上栄松 24-1 ・助場2206

## 12 純米酒ひらか

津軽の米は、肥沃な土壌と清らかな水から生まれる宝物です。その米の中でも、甘味のある「つがるおとめ」を使用した純米酒は格別です。1.8lサイズと、720mlサイズの2種類あります。  
カサイ食品センター 本町北柳田 12-1  
場2666 / 助場2668

## 13 限笹の茶

ノンカフェインが嬉しい限笹の茶。美容と健康に最適です。青森県八甲田山麓に自生するくま笹は、半年以上雪の重みに耐えながら、たっぷり自然の恵みを受け豊かに育ちます。  
カサイ食品センター 本町北柳田 12-1  
場2666 / 助場2668

## 14 ひらかしその恵み

美容と健康に優れたしそをジュースにしました。冷やしてそのままでも、焼酎、日本酒等に混ぜてカクテル風にもお楽しみいただけます。  
新屋よつば会 新屋栄館 2 ・助場2297

## 15 湯あがり

第9回(平成7年)ニッポン全国村おこし展で、中小企業長官賞受賞。無農薬野菜のシソの葉ジュースに梅果汁を混ぜ、三温糖で甘味をつけた無添加健康飲料です。  
道の駅碓ヶ関「関の庄」 碓ヶ関碓石 13-1  
姫5020

## 16 マルメロ羊羹「あどはだり」

秋に黄色く熟したマルメロは独特の香りをはなち、芳香剤としても利用されていました。マルメロは生食には向きませんが、ジャムに加工し、寒天でかためたものと、あんこを混ぜあわせたものと2種類の羊羹は、あどを引くおいしさで、次々と食べたくなります。「あどはだり」とは、津軽弁で、「あどをひく」という意味です。 道の駅碓ヶ関「関の庄」  
碓ヶ関碓石 13-1 姫5020

## 17 自然薯そば

日本原産で、粘りの強さが特徴的。自然薯は、古来より滋養強壮で知られています。自然薯をつなぎに使った国産そば粉100%のおそばです。他に皮に自然薯を使い、具に行者にんにくを使った「自然薯またぎ餃子」、自然薯を中に練り込んだ自然薯ラーメンもあります。 道の駅碓ヶ関「関の庄」  
碓ヶ関碓石 13-1 姫5020

豊かな自然の恵みあふれる物産・特産品です。素朴な中にも伝統がいきづく品々は、丹精込めた逸品です。素材の良さが、ギュッと詰まった味からは、ふるさとの優しい思い出があふれてきます。

4月に誕生した物産協会では、選りすぐりの名産が顔を揃えている「平川市特産品セット」も扱っています。

平川市物産協会

住所：柏木町藤山 27-2 電話：0172-44-3055 FAX：0172-44-3056

## 施策概要

ひと・地域・産業がきらめくまちをめざして

# こころ豊かな、未来へ向かう ひとづくり

## 教育・文化

歴史や文化、生活を大切に、郷土への愛着と誇りをもった「いきいきときらめく」ひとづくりを目指しています。



ひらかドーム

平成 15 年 10 月完成。克雪型の屋内運動場「ひらかドーム」を中心とし、屋内温水プール、テニスコート等を配置しています。地域住民の健康増進と交流の促進、生涯スポーツ活動の拠点となっています。



おのえスポーツセンター

総合的なスポーツ・レクリエーション施設です。野球場やテニスコート、イベント広場、体育館、プール、武道館があります。また、クラブハウスや小公園など、憩いの場が整備されています。



ゆうえい館

碓ヶ関地域にある温水プールで、年間を通して楽しむことができます。幼児用プール、アメニティプール、トレーニングルーム等も整備されており、25m × 8 コースは、日本水泳連盟公認プールで、公式競技大会なども開催されます。

平成 18 年尾上中学校校舎完成。



子ども達の夢の実現のために、楽しく明るい教育環境の整備に努めています。



市内全小中学校に学校給食が提供できました。望ましい食習慣形成を促進するために、給食指導・栄養指導を行っています。





文化センター

平成6年4月オープンから、文化ホールをはじめ、市民図書館、郷土資料館、中央公民館を配置している施設です。



文化ホール



平賀図書館（文化センター内）

市内には平賀図書館のほか尾上図書館（総合学習センター内）もあり、親しみやすく、子どもにも楽しい図書館です。



お話し会



文化発表

いつでも学習や文化・スポーツ活動が出来るような環境を提供します。

展示されている獅子踊



郷土資料館（文化センター内）

市の歴史や、りんご産業の歴史・資料及び文化財を理解しやすく展示しています。



柏木町荒馬踊（かしわぎまちあらまおどり）【市指定文化財】  
「田楽」の流れを汲む儀礼的芸能で「サナブリ」「虫送り」が芸能化されたもの。山の神信仰と関わり、豊作を祈願するものとなっています。



久吉駒踊（ひさよしこまおどり）【市指定文化財】

太刀振（なぎなた）を先頭に、駒踊、ささら踊、などが曲に合わせて踊られ、それぞれの踊りには独特な動作が取り入れられており、久吉地区の全戸が参加して行なわれる芸能行事となっています。

# 施策概要

ひと・地域・産業がきらめくまちをめざして

# 集いと元気あるまちづくり

参加・協働

## 行政

administration



左：秋元俊一収入役 中央：外川三千雄市長  
右：小野幸満副市長

よりよい行政サービスを提供するために、市民協働の推進、民間活力の導入、行政の高度情報化、定員管理の適正化などに積極的に取組み、効率的・効果的な行政システムを構築する必要があります。

多様化、複雑化する市民のニーズに対応するために、健全な財政運営を行い行政評価の導入などにより計画的で効果的な施策を推進します。



本庁舎



尾上分庁舎

碓ヶ関総合支所

## ともに考えよう

person



外川市長から、審議会へ諮問されました。(H17.2.28)

市民協働で、まちづくりを推進するため、市総合計画審議会委員は、公募した市民の積極的な参加により、長期総合プラン基本構想素案について平成19年4月25日市長に答申を行ないました。策定したことで終わることなく、今後の進捗状況についても施策評価を実施し、進行管理の公表などを要望されています。6月議会において基本構想が承認されています。

市民・事業者・行政と、3者の役割を明確にして市民参加、協働を主体としている点が意義深いものであります。



男女共同参画フォーラム（パネルディスカッション）

「互いに認め、支えあう、男女（ひと）がきらめく平川市」を基本理念とし、平成19年3月「男女共同参画推進プラン」が策定されました。

男性と女性が互いの人権を尊重し、自分らしさを発揮しながら生活面や、精神的、経済的に自立することを基礎としています。世代や性別を越えた「支えあい」の中で男性と女性が、対等なパートナーである社会を目指します。

## 議 会

prefectural

市民を代表する24名の議員によって構成されている市議会は、年4回の定例会と、必要に応じて開かれる臨時議会において、条例の制定・改廃、予算の審議など、広範囲にわたり審議されている重要な機関です。さらには市民からの請願書や陳情など、意見や要望などを市政に反映させています。

専門的分野から議案を審議するために、総務企画常任委員会・建設経済常任委員会・教育民生常任委員会の3つの常任委員会と、議会を円滑に進めるための議会運営委員会及び、広報特別委員会が設置されています。広報特別委員会では、定期的に「市議会だより」を発行し、議会活動を紹介し、わかりやすく、親しみやすい議会を目指しています。



## 分かり合える交流

exchange

まちづくりを進めていくためには、合併によって広域化した市内の地域間の交流を深める必要があります。また、国内外の異文化、歴史に触れることにより、郷土への愛着心を育み、魅力ある元気なまちづくりを目指します。



碓ヶ関中学校にて書道での交流  
アメリカ合衆国メイン州カムデン・ロック  
ポートミドルスクール（中学校）との交流  
を行っています。

第2回老人クラブ・軽スポーツ大会  
軽スポーツ大会で、地域間の交流を  
深めます。



## 施策概要

ひと・地域・産業がきらめくまちをめざして

# お互いが支え合う 共生のまちづくり

保健・医療・福祉

保健・医療・福祉の連携を強化し、乳幼児から高齢者のすべての人たちが、住み慣れた地域で生きがいをもって、健やかに安心して生活できるような環境づくりを推進しています。



健康センター（平成 11 年 4 月開設）

各種検診予防接種、健康相談等を行っている健康推進課、介護支援センター、福祉事務所、包括支援センター、社会福祉協議会が業務を行なっています。



各種健康診断の積極的な受診を奨励し、早期発見・予防に努めています。



1 歳児検診では、歯ブラシの指導を、歯科衛生師が丁寧にアドバイスします。

平川診療所  
市街地にある平川診療所と東部地区にある葛川診療所の 2 ヶ所の診療所が地域医療を支えています。





子育て広場での交流

毎月1回子育て広場を開催し、妊娠中の方とその家族や、育児中の家族同士の交流、情報交換の場所を提供し、子育てしやすい環境づくりを行なっています。離乳食教室では、栄養指導と、調理実習を行います。気軽に、どんなことでも相談できる頼もしい存在です。



離乳食講習会



離乳食教室



こどもから、おとしよりまで、笑顔で過ごせる住みよいまちを目指しています



## 施策概要

ひと・地域・産業がきらめくまちをめざして

# やすらぎとぬくもりを 感じるまちづくり

自然環境・生活環境

恵まれた地域資源を未来へ引き継ぐために、地球にやさしい循環型まちづくりの推進を図るとともに、公園や緑地の整備、住環境の整備、上下水道の整備など、居住環境の一層の充実に努めています。



清らかな水、美しい緑と共に育ってきた私たちは、それを当たり前と受け止めず、将来にも残すべき財産ととらえ、「自然」を次世代へ受け継ぐ重要な課題であると認識しています。（市民意識調査：「10年後に残したいもの」調べ）子どもの頃から自然へ親しむ環境づくり、環境意識を高めて現在より美しいまちを次世代に伝えていきます。



子ども会ゴミ拾い

ごみなどのないきれいな河川環境の整備に努めています。

廃棄物の適正処理、ごみの減量化、環境に負担の少ない実現可能な資源循環型社会を目指しています。

集団回収の他、毎月2回資源ゴミ回収を行なっています



また、合併以降、粗大ゴミの収集が、市内全域で行なわれるようになりました。



市営住宅

市営住宅（西の平団地5棟80戸）は、健康で文化的な生活を送るために建設された施設です。昭和56年度に完成後25年以上経過しており老朽化が進んでいます。住環境の充実に努めるために、市民ニーズに対応した市営住宅の機能更新に努めます。



太陽光発電システム

本庁舎2Fの展示パネル

環境への負担軽減を図るため、省エネルギーを意識した生活を推進しています。太陽光、風力など新エネルギーの活用についての情報提供を行なっています。本庁舎裏にある公用車庫の上には、太陽光発電システムが設置されており、システムの概要や日射量、発電電力などが分かるパネルが展示してあります。





久吉ダム

命の源である水。生活を支える良質な水を安定して供給するために、浄水の供給者である水道企業団との連携を強化しています。本市の水系は、浅瀬石川流域（平賀地域・尾上地域）と平川流域（碓ヶ関地域）の2つに大別されています。



市民の交通安全意識の高揚と交通安全施設の充実を図ります。



市民が安心して暮らせるために、防犯活動環境の充実を図るとともに、犯罪のない安心出来るまちづくりを目指しています。



地域の防火活動を推進し、市民・事業者と一体となり、消防救急体制を充実します。

## 施策概要

ひと・地域・産業がきらめくまちをめざして

# うるおいと活力に満ちた 産業のまちづくり

産業・経済

観光基盤の整備充実を図り、賑わいのある観光づくりを推進しています。



## 林業

市の総面積の約7割が林野で、そのうち8割が国有林です。森林の公益を図るために計画的・適正な保育・施業を実施し優良な森林の造成と保護に努めています。



道の駅いかりがせき「津軽 関の庄」にある直売所には、農家直送の農産物や地元特産品の直売所や、観光物産館にはレストラン「彩里(いろり)」もあり、地元食材を活用したメニューも味わうことができます。古くから交通の要衝として名を知られた関所は、現在でも道の駅として、青森津軽の玄関口として人々に愛されています。

## 農業

食の安全・安心を強く求める消費者に対応するため、有機栽培や減農薬などに積極的に取り組んでいます。また、地産地消や特産品のブランド化を推進し、魅力ある農業を目指しています。



猿賀神社、盛美園、清藤氏書院庭園等の文化財が並ぶ尾上地域の観光拠点として、「四季の蔵もてなしロマン館」が平成17年にオープンしました。お土産ショップやレストラン「ふるさと」があり、企画展示等も楽しめます。ロマン館裏には、見本庭園や、俳句が投稿できるポストがあり、遊歩道は猿賀神社まで続いています。

地域商店街の活性化を推進するために、商工関連団体と連携強化し、市民・事業者・行政が一体となり、魅力的なまちづくりを目指しています。



## 商業

平賀駅前商店街  
弘南鉄道「平賀駅」前を中心とした商店街は、地域に密着した、活気ある商店街となっています。



イオンタウン平賀（建設中）  
現在建設中の大規模な複合商業施設は、中心商店街からもアクセスしやすく、市内街からの利用客、また、雇用の促進が期待されています。

市内企業の規模拡大、新分野進出に向けた企業の取組みを側面から支援するとともに工業分野、環境分野、農林業分野、福祉分野を中心に雇用の機会拡大に向けた取組みを促進しています。



写真提供（光城精工(有)）  
精密機器に高度な技術が求められている中、新分野の研究にも力をいれています。



松崎工業団地  
企業立地を推進するために、松崎工業団地（平賀地域：団地面積7.1ha）と尾上農工団地（尾上地域：団地面積11.7ha）の2ヶ所の工業団地があります。



尾上農工団地

## 施策概要

ひと・地域・産業がきらめくまちをめざして

# 便利で快適に暮らす まちづくり

都市基盤・情報通信

人にやさしい交通環境づくりに配慮しながら、市民生活を支える重要な基盤である道路や市街地の整備、高度情報化社会に対応した情報通信基盤の整備、公共交通の充実を図っています。



地域間相互の連携・交流を図るため、交通利便性の高い道路整備について、景観や街並みに配慮し、人にやさしい道づくりを目指しています。

美しいまち、魅力的なまちづくりを推進し、活力と定住性のある市街地形成を目指しています。良好な景観づくりのために、生け垣を推進しています。



ガーデンライン（さわらの生け垣と、各家庭の庭の緑が幾重にも重なって、沿道を彩っています）



フラワーポッド（平賀駅前から商店街の通りに、彩りをそえています）



山間部の除雪



庁舎前の様子

積雪による交通障害は市民生活に大きな影響を与えるため、雪国に適した道路整備や道路の除雪を行い、消融雪溝など計画的に整備を進めています。冬季間の快適な生活環境を確保しています。



平賀地域では、平賀駅を起点とした循環バスが平成16年度から運行されています。また、周辺市町村を結ぶ路線バスも市民生活に重要な役割を果たしています。

利用しやすい公共交通体系を整備し、また環境への配慮から、公共交通機関の利用を促進しています。



東北自動車道「碓ヶ関IC」は、青森県の玄関口であり、昔も今も変わらずに交通の要衝として、観光客を迎え入れています。



JR東日本の駅が2つあります。「碓ヶ関」「津軽湯の沢」は、知る人ぞ知る情緒豊かな秘湯を好む温泉客や、地元の人々の重要な交通手段として利用されています。



情報高度システムの整備により、迅速で効率の良い行政サービスを提供するとともに、個人情報保護を推進しています。



弘前南鉄道は、津軽エリアのローカル線として、重要な役割を担っています。「平賀駅」は弘前～黒石間を結ぶ弘南線にあり、駅を中心として発展してきました。



# ひらかわデータ編

もくじ

1 わたしたちの暮らし..... 1	8 消防・公安 ..... 11
2 自然 ..... 2	9 財政 ..... 12
3 人口 ..... 3	10 行政・議会 ..... 14
4 産業 ..... 5	11 あゆみ ..... 16
5 生活環境・運輸 ..... 7	12 官公庁等一覧 ..... 19
6 保健・医療・福祉 ..... 8	13 イラストマップ ..... 22
7 教育・文化財 ..... 10	14 市街地マップ ..... 24

## 1. わたしたちの暮らし

<p>人口密度</p>  <p>1km<sup>2</sup>当たり101.7人</p>	<p>世帯人員</p>  <p>1世帯当たり3.2人</p>	<p>出生</p>  <p>1.6日に1人</p>	<p>死亡</p>  <p>0.8日に1人</p>
<p>婚姻</p>  <p>2.7日に1組</p>	<p>離婚</p>  <p>6.8日に1組</p>	<p>転入</p>  <p>1日に2.2人</p>	<p>転出</p>  <p>1日に2.5人</p>
<p>市予算 (平成19年度一般会計)</p>  <p>1人当たり418,529円</p>	<p>市税 (平成18年度決算)</p>  <p>1人当たり62,981円</p>	<p>高齢者</p>  <p>3.9人に1人</p>	<p>教職員</p>  <p>小学生12.1人に1人 中学生10.2人に1人</p>
<p>市議員</p>  <p>1,465.8人に1人</p>	<p>ごみ排出量</p>  <p>1日に31.9トン</p>	<p>乗用車保有台数 (乗用普通・小型自動車・軽自動車)</p>  <p>1世帯当たり2.0台</p>	<p>救急出動</p>  <p>1日に2.2件</p>

# 2.自然

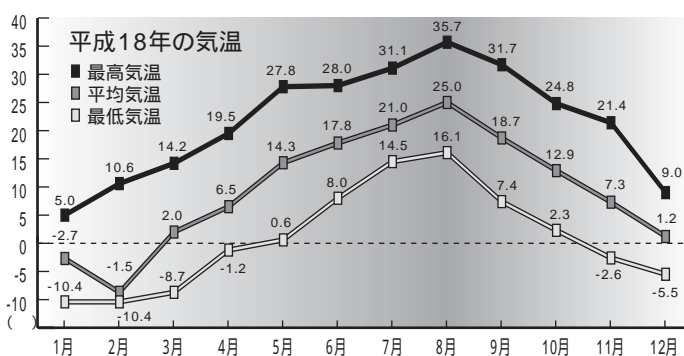
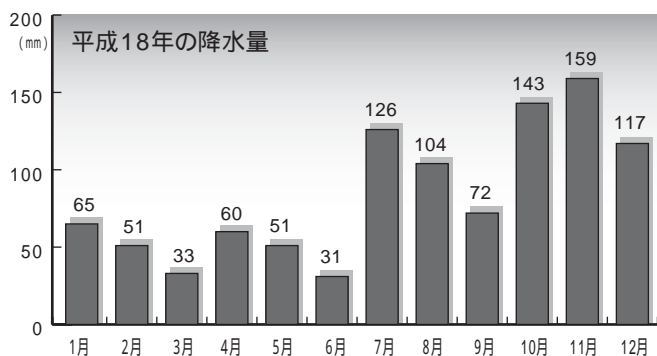
気象概況 (気温、降水量)

平野部

(単位: mm)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成14年	最高温度	7.9	13.3	19.5	27.1	27.9	30.7	32.8	34.4	32.7	25.9	15.6	11.5
	最低温度	-9.9	-12.1	-6.5	0.0	4.3	8.4	14.8	12.3	8.3	3.3	-4.0	-9.8
	平均温度	-4.1	-3.9	1.7	9.8	15.0	18.3	23.3	22.8	18.9	13.5	6.7	-1.4
	降水量	63	32	65	23	62	96	132	281	108	122	134	47
平成15年	最高温度	7.2	13.3	27.1	24.0	31.2	27.1	25.2	30.5	29.4	23.2	22.2	11.1
	最低温度	-8.3	-8.5	-10.2	-0.3	3.1	7.8	12.9	14.6	6.6	3.7	-3.5	-3.8
	平均温度	-0.8	0.2	4.3	11.6	14.2	18.2	22.9	22.8	19.0	13.0	3.5	-0.8
	降水量	79	44	68	76	50	83	69	180	102	101	72	88
平成16年	最高温度	4.9	12.8	19.8	22.0	29.2	29.4	38.3	36.7	28.6	23.7	20.4	14.9
	最低温度	-8.1	-7.9	-7.3	-0.5	1.6	10.3	12.0	11.7	9.4	1.6	-0.2	-8.9
	平均温度	-1.6	-0.5	2.9	10.0	14.8	18.2	17.7	21.5	17.8	12.0	7.6	2.3
	降水量	85	69	44	86	93	48	74	101	250	52	94	131
平成17年	最高温度	6.5	13.0	19.7	23.1	28.2	29.3	37.6	30.0	24.8	23.5	19.9	6.2
	最低温度	-8.5	-10.5	-8.3	-0.5	2.2	9.4	12.6	17.4	7.2	2.1	-0.9	-8.1
	平均温度	-1.8	-1.6	2.4	9.8	14.7	18.4	21.9	22.1	16.0	13.4	6.6	-1.7
	降水量	224	98	114	50	39	28	171	100	152	112	126	63
平成18年	最高温度	5.0	10.6	14.2	19.5	27.8	28.0	31.1	35.7	31.7	24.8	21.4	9.0
	最低温度	-10.4	-10.4	-8.7	-1.2	0.6	8.0	14.5	16.1	7.4	2.3	-2.6	-5.5
	平均温度	-2.7	-1.5	2.0	6.5	14.3	17.8	21.0	25.0	18.7	12.9	7.3	1.2
	降水量	65	51	33	60	51	31	126	104	72	143	159	117

気 温:資料 消防年報より  
降水量:資料 青森气象台(黒石市栄松)有線ロボット気象計

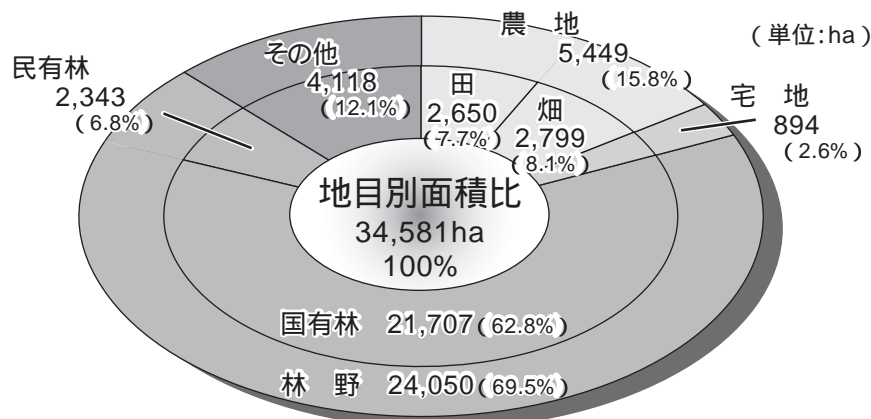


土地利用状況 (地目別面積) (平成19年1月1日現在)

区 分	農 地			宅 地	林 野			その他	総面積
	田	畑	計		国有林	民有林	計		
ha	2,650	2,799	5,449	894	21,707	2,343	24,050	4,188	34,581
%	7.7	8.1	15.8	2.6	62.8	6.8	69.5	12.1	100.0

(資料:国定資産概要調査)

地目別面積比





# 3.人口

行政区別人口・世帯数（平成19年4月30日現在）

（単位：人）

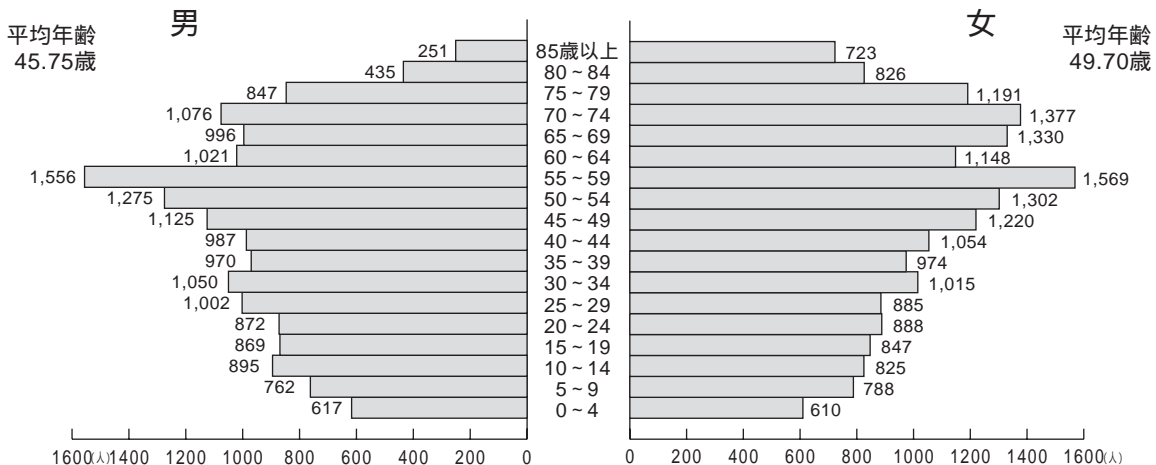
地域	区分	世帯数	男女計	男	女
平賀 （西部地区）	柏木町	660	1,835	841	994
	向陽田	215	650	317	333
	原田	133	484	221	263
	岩館	121	376	181	195
	大石坊	195	636	303	333
	郷	116	385	186	199
	三町	134	446	216	230
	館田	222	715	324	391
	苗生	101	340	154	186
	西の平	79	231	92	139
	館山・松崎	146	488	226	262
	松館	53	227	112	115
	杉館	116	438	193	245
	大光寺	292	947	453	494
	大本町	508	1,438	671	767
平賀 （中部地区）	平成	257	698	332	366
	光城	334	1,017	486	531
	小和	155	563	271	292
	荒田	60	219	98	121
	平田	136	477	233	244
	町居	402	1,419	658	761
	新屋	398	1,352	650	702
	尾崎	358	1,387	676	711
	広船	234	962	475	487
	唐竹	422	1,356	655	701
	沖館	312	925	420	505
新野	108	440	210	230	
向野	27	73	40	33	
藤野	151	409	179	230	
雇用住宅	41	131	62	69	
南田町	60	174	86	88	
平賀 （東部地区）	小国	60	189	87	102
	葛川	51	174	84	90
	切明	24	57	26	31
	平六	15	31	17	14
	温川	5	10	5	5
	井戸	17	47	22	25
	大木	14	56	27	29
小本	23	83	35	48	
小計	6,755	21,885	10,324	11,561	

地域	区分	世帯数	男女計	男	女
尾上	金屋	275	1,048	488	560
	南田中	422	1,451	723	728
	李平	170	611	295	316
	高木	385	1,220	584	636
	尾上	234	694	322	372
	新屋町	169	597	278	319
	新南田	110	316	144	172
	上猿賀	264	942	465	477
	西猿賀	153	565	281	284
	中佐渡	131	443	199	244
	長田	47	156	72	84
	八幡崎	220	651	319	332
	日沼	213	657	296	361
	蒲田	50	161	77	84
	新山	97	358	168	190
みなみの	126	345	161	184	
小計	3,066	10,215	4,872	5,343	

地域	区分	世帯数	男女計	男	女
碓ケ関	駅前第一	54	165	81	84
	駅前第二	67	185	81	104
	高田	72	189	90	99
	山の	57	144	64	80
	下町	50	136	62	74
	三笠	41	110	55	55
	川向	103	261	121	140
	いざよい	173	424	182	242
	仲町	41	110	48	62
	おかりや	29	60	27	33
	上	56	159	73	86
	上二	97	255	114	141
	古懸上	77	272	126	146
	古懸下	73	253	124	129
	古船岡	39	102	47	55
久吉	72	213	99	114	
湯ノ沢	21	40	16	24	
小計	1,122	3,078	1,410	1,668	
合計	10,943	35,178	16,606	18,572	

（資料：市民課）

人口ピラミッド（平成19年4月30日現在）



（資料：市民課）

## 人口移動

(単位:人)

区 分	自然動態								自然増
	出 生				死 亡				
	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	
平成13年	283	183	90	10	385	249	96	40	102
平成14年	273	184	75	14	401	253	106	42	128
平成15年	260	174	69	17	446	271	128	47	186
平成16年	237	154	75	8	400	254	104	42	163
平成17年	230	148	68	14	440	266	117	57	210
平成18年	234	234			444	444			210

区 分	社会動態								社会増	人口増減
	転 入				転 出					
	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村		
平成13年	1,020	615	319	86	946	557	280	109	74	28
平成14年	902	564	278	60	1,050	642	283	125	148	276
平成15年	935	526	314	95	1,040	600	319	121	105	291
平成16年	869	479	326	64	1,005	579	319	107	136	299
平成17年	814	481	272	61	1,034	641	269	124	220	430
平成18年	813	813			928	928			115	325

(資料:青森県の人口移動)

## 人口・世帯数の推移

(単位:人)

区 分	人 口			旧平賀町			旧尾上町			旧碓ヶ関村		
	男女計	男 計	女 計	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
昭和55年	38,979	18,695	20,284	23,477	11,348	12,129	10,859	5,203	5,656	4,643	2,144	2,499
昭和60年	38,932	18,683	20,249	23,970	11,555	12,415	10,495	4,995	5,500	4,467	2,133	2,334
平成2年	37,948	18,133	19,815	23,672	11,295	12,377	10,185	4,864	5,321	4,091	1,974	2,117
平成7年	36,876	17,556	19,320	23,186	11,066	12,120	10,016	4,790	5,226	3,674	1,700	1,974
平成12年	36,454	17,272	19,182	22,861	10,868	11,993	10,167	4,813	5,354	3,426	1,591	1,835
平成17年	35,336	16,486	18,850	22,060	10,331	11,729	10,110	4,723	5,387	3,166	1,432	1,734

区 分	世 帯 数				一世帯当り人員			
	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	平 均	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村
昭和55年	9,192	5,467	2,522	1,203	4.2	4.3	4.3	3.9
昭和60年	9,449	5,680	2,537	1,232	4.1	4.2	4.1	3.6
平成2年	9,556	5,787	2,549	1,220	4.0	4.1	4.0	3.4
平成7年	9,533	5,843	2,578	1,112	3.9	4.0	3.9	3.3
平成12年	9,826	6,007	2,753	1,066	3.7	3.8	3.7	3.2
平成17年	10,074	6,172	2,872	1,030	3.5	3.6	3.5	3.1

(資料:国勢調査)

## 年齢4区別人口の推移

(単位:人)

区 分	0~14歳	15~29歳	30~64歳	65歳以上	合 計
昭和55年	8,631	8,229	17,790	4,329	38,979
昭和60年	8,193	7,179	18,615	4,945	38,932
平成2年	7,098	6,496	18,635	5,719	37,948
平成7年	5,963	6,291	17,693	6,929	36,876
平成12年	5,207	6,328	16,732	8,187	36,454
平成17年	4,671	5,471	16,083	9,111	35,336

(資料:国勢調査)

# 4. 産業

## 市内総生産の推移

(単位:百万円)

区 分	平成14年度				平成15年度				平成16年度			
	旧尾上町	旧平賀町	旧碓ヶ関村	計	旧尾上町	旧平賀町	旧碓ヶ関村	計	旧尾上町	旧平賀町	旧碓ヶ関村	計
第1次産業												
農 業	1,232	4,242	280		1,188	4,030	271		1,491	5,041	331	
林 業	3	84	38	5,879	3	100	57	5,651	6	69	80	7,017
水 産	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
第2次産業												
鉱 業	0	327	0		0	272	0		0	85	0	
製 造	2,245	8,506	132	20,732	2,409	8,955	167	21,437	2,663	10,599	106	19,086
建 設	2,185	5,207	2,130		1,979	6,677	977		1,742	2,877	1,014	
第3次産業												
電気・ガス・水道業	459	1,135	175		439	1,122	170		437	1,127	166	
卸売・小売業	2,500	4,352	287		2,383	4,478	242		2,292	4,218	223	
金融・保険業	535	1,168	278		477	1,053	322		488	1,071	392	
不動産業	3,801	7,488	1,030	52,541	3,639	7,447	1,033	51,690	3,593	7,441	1,013	52,299
運輸・通信業	496	1,305	671		395	1,266	434		408	1,343	645	
サービス業	2,213	8,014	2,741		2,260	8,316	3,009		2,321	8,527	3,307	
政府サービス生産者	3,015	7,403	1,380		3,108	6,829	1,320		3,119	6,836	1,330	
対家計民間非営利サービス生産者	757	1,113	223		651	1,079	217		622	1,146	231	
小 計	19,443	50,345	9,365	79,153	18,932	51,625	8,220	78,777	19,183	50,381	8,838	78,402
輸入品に課される税・関税	57	149	28	234	56	153	24	233	58	151	27	236
(控除)総資本形成に係る消費税	117	302	56	475	100	273	44	417	107	281	49	437
(控除)帰属利子等	806	2,088	388	3,282	785	2,140	341	3,266	745	1,956	343	3,044
市町村内総生産	18,577	48,104	8,948	75,629	18,103	49,364	7,860	75,327	18,389	48,295	8,473	75,157

注 四捨五入のため、積算が合計と一致しない場合がある。

時系列比較などの観点から平成8年度まで遡って推計しなおしてあるため、取扱には注意を要する。

(資料:市町村民経済計算)

## 一人当たり市民所得と所得格差

(単位:千円・%)

区 分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
一人当たり所得					
国民所得	2,929	2,837	2,790	2,807	2,826
県民所得	2,380	2,287	2,228	2,174	2,152
旧平賀町	1,944	1,926	1,866	1,832	1,949
旧尾上町	1,993	1,997	2,013	1,958	2,016
旧碓ヶ関村	1,974	1,939	2,027	1,933	1,838
平川市	1,970	1,954	1,969	1,908	1,934
所得格差					
県	81.3	80.6	79.9	77.4	76.2
平川市	67.3	68.9	70.6	68.0	68.4
平川市	82.8	85.4	88.4	87.8	89.9

(資料:市町村民経済計算)

## 産業別就業者人口の推移

(単位:人・%)

区 分	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
総 数	19,772	19,796	19,954	19,616	19,373	18,556
旧平賀町	12,238	12,414	12,549	12,357	12,211	11,782
旧尾上町	5,364	5,292	5,344	5,406	5,515	5,291
旧碓ヶ関村	2,170	2,090	2,061	1,853	1,647	1,483
比 率	99.90	99.91	99.90	99.92	99.99	99.87
第1次産業	39.37	39.19	34.64	30.76	26.85	26.28
第2次産業	23.00	23.29	26.84	26.92	27.76	23.99
第3次産業	37.53	37.43	38.42	42.24	45.38	49.60
第1次産業	7,785	7,758	6,912	6,033	5,202	4,876
旧平賀町	5,275	5,427	4,814	4,216	3,616	3,377
旧尾上町	1,880	1,785	1,633	1,419	1,249	1,170
旧碓ヶ関村	630	546	465	398	337	329
第2次産業	4,548	4,611	5,356	5,280	5,378	4,452
旧平賀町	2,979	2,833	3,238	3,321	3,444	2,839
旧尾上町	1,126	1,237	1,524	1,512	1,511	1,310
旧碓ヶ関村	443	541	594	447	423	303
第3次産業	7,420	7,410	7,667	8,286	8,791	9,204
旧平賀町	3,971	4,146	4,486	4,806	5,151	5,559
旧尾上町	2,352	2,268	2,180	2,472	2,754	2,794
旧碓ヶ関村	1,097	996	1,001	1,008	886	851

総数には分類不能の産業含む。

(資料:国勢調査)

## 事業所数及び従業者数の推移

(単位:件・人)

区 分	事業所数	従業者数
平成13年		
旧平賀町	873	7,500
旧尾上町	465	3,337
旧碓ヶ関村	178	1,077
計	1,516	11,914
平成16年		
旧平賀町	779	6,452
旧尾上町	403	2,768
旧碓ヶ関村	147	980
計	1,329	10,200
平成18年		
平川市	1,397	11,251

(資料:事業所・企業統計)

## 商業の推移(一般飲食店を除く)

(単位:件・人・百万円)

区 分	商店数	従業者数	年間販売額
平成11年度			
旧平賀町	247	1,345	23,190
旧尾上町	129	651	15,426
旧碓ヶ関村	55	144	1,349
計	431	2,140	39,965
平成14年度			
旧平賀町	239	1,345	23,105
旧尾上町	130	679	15,318
旧碓ヶ関村	52	194	1,438
計	421	2,218	39,861
平成16年度			
旧平賀町	228	1,263	23,738
旧尾上町	116	690	14,101
旧碓ヶ関村	43	174	1,164
計	387	2,127	39,002

(資料:商業統計)

## 工業の推移(各年12月31日)

(単位:件・人・万円)

区 分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成15年			
旧平賀町	22	1,856	1,705,594
旧尾上町	20	666	573,330
旧碓ヶ関村	6	64	28,177
計	48	2,586	2,307,101
平成16年			
旧平賀町	22	1,878	2,117,347
旧尾上町	17	629	591,884
旧碓ヶ関村	5	58	21,282
計	44	2,565	2,730,513
平成17年			
旧平賀町	22	2,003	2,431,276
旧尾上町	15	507	549,267
旧碓ヶ関村	6	59	22,183
計	43	2,569	3,002,726

従業者4人以上の事業所

(資料:青森県の工業)

販売農家戸数及び農業従事者数

区分	総農家数 (参考)	販売農家戸数(戸)						農業従事者数(人)			就業人口 (人)
		総数	専業 <sup>1</sup>	兼業 <sup>2</sup>	第1種	第2種	総数	男	女		
平成2年	旧平賀町	2,909	2,550	250	2,300	780	1,520	7,501	3,853	3,648	4,416
	旧尾上町	1,217	1,041	104	937	302	635	3,103	1,596	1,507	1,510
	旧碓ヶ関村	310	252	33	219	79	140	837	423	414	507
	計	4,436	3,843	387	3,456	1,161	2,295	11,441	5,872	5,569	6,433
平成7年	旧平賀町	2,747	2,385	292	2,093	811	1,282	6,926	3,646	3,280	4,353
	旧尾上町	1,118	959	109	850	249	601	2,710	1,442	1,268	1,448
	旧碓ヶ関村	255	205	25	180	83	97	577	306	271	381
	計	4,120	3,549	426	3,123	1,143	1,980	10,213	5,394	4,819	6,182
平成12年	旧平賀町	2,527	2,182	286	1,896	667	1,229	6,557	3,446	3,111	4,129
	旧尾上町	1,019	859	87	772	217	555	2,611	1,373	1,238	1,393
	旧碓ヶ関村	225	180	23	157	40	117	556	295	261	342
	計	3,771	3,221	396	2,825	924	1,901	9,724	5,114	4,610	5,864
平成17年	旧平賀町	2,322	1,947	369	1,578	559	1,019	5,622	2,927	2,695	3,734
	旧尾上町	913	747	116	631	198	433	2,131	1,109	1,022	1,243
	旧碓ヶ関村	201	160	37	123	39	84	486	257	229	334
	計	3,436	2,854	522	2,332	796	1,536	8,239	4,293	3,946	5,311

注)平成12年以降の調査では、自給的農家の負担軽減を図る目的で、調査内容が削除されている。旧町村の要覧データとの比較には注意を要する。

<sup>1</sup>専業農家 定義:世帯員の中に、兼業従事者が1人もない世帯(高齢者のみの小規模農家も農業のみ従事していれば、対象となる。大規模農家でも、世帯員の中に1人でも他産業に従事していると、兼業農家となる。)

<sup>2</sup>兼業農家 定義:世帯員の中に、兼業従事者が1人以上いる世帯

(資料:農林業センサス)

森林現況

(単位:面積:ha、蓄積:1,000m<sup>3</sup>、率:%)

区分	総土地 面積 A	総森林 B=C+E	総森林 B/A	民有林						国有林			
				総数 C	人工林 D	天然林	無立木地	更新困 難地	人工林率 D/C	総数 E	林野庁 所管	官行造林	
平成18年度	面積	34,581	25,911	74.9	5,604	3,605	1,969	30	-	64.3	20,307	20,214	94
	蓄積	-	3,654	-	1,043	802	241	-	-	-	2,612	2,591	20
平成19年度	面積	34,581	25,954	75.1	5,655	3,642	1,997	16	1	64.4	20,299	20,205	94
	蓄積	-	3,982	-	1,165	923	242	-	-	-	2,817	2,795	22

注)官行造林地は、「計画外地」を除く。

(資料:青森県の森林・林業)

経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位:ha)

区分	平成2年				平成7年				平成12年				平成17年			
	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計
総農家戸数	2,909	1,217	310	4,436	2,747	1,118	255	4,120	2,527	1,019	225	3,771	2,033	774	165	2,972
例外規定	9	10	1	20	7	3	3	13	10	3	2	15	87	20	7	114
0.5未満	790	356	110	1,256	739	309	88	1,136	691	296	68	1,055	299	128	30	457
0.5~1.0	764	348	68	1,180	717	352	50	1,119	675	309	55	1,039	589	260	41	890
1.0~1.5	579	224	54	857	555	195	56	806	466	174	43	683	415	167	29	611
1.5~2.0	330	128	39	497	310	112	29	451	280	100	33	413	256	82	31	369
2.0~2.5	199	75	21	295	178	68	14	260	172	67	11	250	158	58	13	229
2.5~3.0	113	36	14	163	107	46	7	160	94	39	9	142	93	26	4	123
3.0以上	125	40	3	168	134	33	8	175	139	31	4	174	136	33	10	179

(資料:農林業センサス)

経営耕地面積の推移

(単位:ha)

区分	田	畑	牧草地	樹園地	総面積	
平成2年	旧平賀町	1,806	333	1	1,224	3,364
	旧尾上町	898	50	-	323	1,272
	旧碓ヶ関村	120	24	-	166	310
	計	2,824	407	1	1,713	4,946
平成7年	旧平賀町	1,676	382	1	1,209	3,268
	旧尾上町	836	42	1	309	1,188
	旧碓ヶ関村	101	21	-	143	265
	計	2,613	445	2	1,661	4,721
平成12年	旧平賀町	1,477	354	5	1,180	3,016
	旧尾上町	779	40	0	280	1,099
	旧碓ヶ関村	90	25	-	120	235
	計	2,346	419	5	1,580	4,350
平成17年	旧平賀町	1,379	331	45	1,141	2,896
	旧尾上町	712	40	-	246	998
	旧碓ヶ関村	81	26	-	117	224
	計	2,172	397	45	1,504	4,118

注)四捨五入のため積算と合計が一致しない場合がある。

(資料:農林業センサス)

農業算出額の推移

(単位:千円)

区分	米	麦・雑穀 ・花類	野菜	果実	りんご	花き	畜産	加工 農産物	その他	計	
平成14年	旧平賀町	150	4	114	309	303	9	20	1	16	621
	旧尾上町	77	4	24	85	80	13	-	1	8	211
	旧碓ヶ関村	7	0	8	34	33	0	x	-	2	52
	計	234	8	146	428	416	22	20	2	26	884
平成15年	旧平賀町	141	6	92	334	328	9	15	0	20	615
	旧尾上町	69	4	27	93	88	13	-	1	7	213
	旧碓ヶ関村	6	0	9	33	33	0	x	x	5	54
	計	216	10	128	460	449	22	15	1	32	882
平成16年	旧平賀町	175	4	125	417	409	8	15	0	18	763
	旧尾上町	86	2	34	118	111	12	-	0	5	257
	旧碓ヶ関村	7	0	9	41	41	0	0	-	4	63
	計	268	6	168	576	561	20	15	0	27	1,083
平成17年	旧平賀町	177	4	117	395	388	7	x	x	18	735
	旧尾上町	88	3	32	110	104	10	0	0	5	248
	旧碓ヶ関村	8	0	9	39	38	0	-	-	3	59
	計	273	7	158	544	529	18	x	x	27	1,042

注)xは秘匿したもので、四捨五入のため積算と合計が一致しない場合がある。

(資料:県農林水産統計年報)

指定企業一覧(平成19年4月1日現在)

企業名(平賀地域)	業種	住所
青森リバーテクノ(株)平賀工場	電気機械器具製造業	石郷柳田38-1
青森前田コンクリート工業(株)	窯業	大坊竹原62-3
(株)日本マイクロニクス	電気	町居南田571-2
(株)青森エリート	縫製	松崎亀井5
(株)タカシン	電子機器製造	町居稲村193-1
(株)アビール	電気部品組立	館山上亀岡26
(株)ジョイ・ワールド・パシフィック	精密部品組立	館山前田85-2
光城精工(株)	電子機器部品製造	大光寺一滝本54-1
東北福山通運(株)弘前営業所	運送	大坊竹原230-1

企業名(尾上地域)	業種	住所
(株)木村食品工業	食料品製造	李平上安原2-19
尾上りんご商業協同組合	りんご加工	新屋町沢田43-4
高砂食品(株)	食料品製造	日沼富田36
弘前機能性食品開発協同組合	食品開発	日沼富田30-9
(株)吉田産業	建設資材	日沼富田19-7
トヨタカーロー青森(株)尾上物流センター	卸売業	日沼富田29-2
青森三菱ふそう自動車販売(株)弘前営業所	卸売業	日沼富田29-1
(株)大東電気商会	電気工事	日沼富田123-1

# 5. 生活環境・運輸

## リサイクルの状況

### 市によるごみの資源化の状況【直接資源化量】

(単位:t・%)

区 分	紙		金属類		ガラス		ペットボトル		プラスチック		その他		回収量 計
	回収量	回収率	回収量	回収率	回収量	回収率	回収量	回収率	回収量	回収率	回収量	回収率	
平成17年度	212	21.6	507	51.7	135	13.8	44	4.5	83	8.5	0	0	981
平成18年度	204	21.9	475	51.0	128	13.7	42	4.5	83	8.9	0	0	932

### 住民団体等による資源回収の状況【集団回収量】

区 分	紙		金属類		ガラス		その他		回収量 計	区 分	リサイクル率
	回収量	回収率	回収量	回収率	回収量	回収率	回収量	回収率			
平成17年度	530	88.3	11	1.8	55	9.2	4	0.7	600	平成17年度	12.6
平成18年度	565	89.4	11	1.7	52	8.2	4	0.6	632	平成18年度	12.7

リサイクル率(%) = (直接資源化量 + 中間処理後再生利用量 + 集団回収量) / (ごみの総処理量 + 集団回収量) × 100

(資料:市民生活課)

### ごみ処理状況の推移

(単位:人・t)

区 分	処理計画人口	処理人口	年間総排出量	年間収集量
平成17年度	35,743	35,743	11,974	10,124
平成18年度	35,487	35,487	11,658	9,667

(資料:市民課)

### し尿処理状況の推移

(単位:人・t)

区 分	処理計画人口	処理人口	年間総排出量	年間収集量	浄化槽処理
平成17年度	35,743	3,690	15,803	3,313	3,546
平成18年度	35,487	3,442	16,220	3,091	3,274

(資料:市民課)

### 水道の状況

(平成18年度)

(単位:人・m<sup>3</sup>・%)

区 分	計画給水人口	給水人口	一日最大給水量	一日平均給水量	普及率
上水道	35,700	31,389	9,509	7,051	90.4
簡易水道	437	412	135	48	94.3

(資料:上下水道課、葛川支所)

### 下水道の状況

(平成19年4月1日現在)

(単位:ha・人・%)

区 分	計画面積	整備済人口	水洗化人口	整備面積	水洗化率
公 共	944	26,969	19,286	884	71.5
集落排水	332	7,405	5,204	332	70.3
合 計	1,276	34,374	24,490	1,216	71.2

(資料:上下水道課)

### 自動車保有状況の推移

(各年3月31日現在)

区 分	平成15年				平成16年				平成17年				平成18年 平 川 市	平成19年 平 川 市
	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計		
貨物車	1,518	925	218	2,661	1,494	907	208	2,609	1,462	887	210	2,559	2,486	2,402
乗 合	53	20	16	89	50	18	12	80	52	17	14	83	83	81
乗 車	1,926	882	276	3,084	1,977	900	291	3,168	2,042	934	301	3,277	3,308	3,260
普通車	4,457	2,119	697	7,273	4,317	2,052	665	7,034	4,230	1,987	650	6,867	6,659	6,360
小型車	6,383	3,001	973	10,357	6,294	2,952	956	10,202	6,272	2,921	951	10,144	9,967	9,620
特殊用途用	261	120	43	424	268	109	40	417	258	116	44	418	415	408
大型特殊	85	52	19	156	85	53	22	160	95	58	21	174	170	174
小型二輪	116	61	17	194	112	71	16	199	107	69	13	189	186	181
軽自動車	3,336	1,330	415	5,081	3,295	1,312	400	5,007	3,282	1,351	398	5,031	5,028	4,994
貨物車	3,264	1,516	426	5,206	3,504	1,624	452	5,580	3,746	1,715	486	5,947	6,243	6,555
乗用車	29	10	3	42	28	12	5	45	34	13	5	52	45	53
特 種	216	93	50	359	223	91	50	364	230	94	47	371	376	374
二 輪	6,845	2,949	894	10,688	7,050	3,039	907	10,996	7,292	3,173	936	11,401	11,692	11,976
小 計	15,261	7,128	2,180	24,569	15,353	7,149	2,161	24,663	15,538	7,241	2,189	24,968	24,999	24,842

(資料:東北運輸局青森運輸支局)

### バス利用状況の推移(乗降客年間利用者数)

(単位:人)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
杉 館・松崎線			12,594	6,383	6,655
岩 館・大坊線			17,196	9,622	8,863
新 屋・尾崎線			36,678	26,867	25,014
唐 竹・広船線			34,770	27,911	26,666
循環バス計			101,238	70,783	67,198
弘 前～平賀線	24,063	20,291	15,502	15,405	13,336
弘前～大鰐・碓ヶ関線	216,976	205,199	185,481	197,249	193,141
弘 前～尾上線	31,068	31,080	19,816	26,237	25,623
黒石～大鰐線(平賀経由)	17,228	16,008	14,669	13,510	12,070
黒 石～尾上線	47,027	51,303	41,042	51,879	43,320
路線バス計	336,362	323,881	276,510	304,280	287,490

(資料:㈱弘南バス)

### 都市計画区域の指定状況

区 分	都市計画区域 面積(ha)	対行政区区域 割合(%)	市街化区域 面積(ha)	用途地域の 指定面積(ha)	市街化調整 区域面積(ha)
旧平賀町	2,962	13.4	157	157	2,805
旧尾上町	1,887	100.0	256	256	1,631
旧碓ヶ関村					
計	4,849	14.0	413	413	4,436

(資料:都市計画課)

### 道路の状況

平成17年4月現在

区 分	実延長(m)	改良延長(m)	改良率(%)	舗装延長(m)	舗装率(%)	
国 道	旧平賀町	31,470	16,234	51.6	31,470	100.0
	旧尾上町	2,165	2,165	100.0	2,165	100.0
	旧碓ヶ関村	15,892	15,869	99.9	15,892	100.0
	計	49,527	34,268	69.2	49,527	100.0
県 道	旧平賀町	51,292	30,973	60.4	34,393	67.1
	旧尾上町	19,562	13,868	70.9	17,097	87.4
	旧碓ヶ関村	5,320	2,987	56.1	3,025	56.9
	計	76,174	47,828	62.8	54,515	71.6
旧町村道	旧平賀町	754,619	145,431	19.3	245,568	32.5
	旧尾上町	172,014	82,096	47.7	89,362	52.0
	旧碓ヶ関村	65,816	39,396	59.9	50,334	76.5
	計	992,449	266,923	26.9	385,264	38.8

(資料:土木課)

### 市営住宅、雇用促進住宅の状況

(平成19年5月1日現在)

区 分	建築年度	敷地面積	戸 数	入居戸数	入居率
市 営 住 宅	昭和54年～昭和56年	14,655	80	78	97.5
雇用促進住宅	昭和60年	8,537	80	44	55.0

(資料:都市計画課、弘前公共職業安定所)

(単位:台)

### 鉄道利用状況の推移(乗降客年間利用者数)

(単位:人)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
J	碓ヶ関	134,718	132,958	115,094	99,704
	津軽湯の沢	5,924	4,610	4,138	3,464
	計	140,642	137,568	119,232	103,168
R	館 田	53,671	50,728	44,615	48,093
	平 賀	245,168	219,024	207,913	210,924
	柏 農 高 前	47,160	40,197	41,312	39,204
	津 軽 尾 上	99,975	88,881	85,186	94,598
	尾上総合高校前	45,140	44,895	49,073	51,066
	計	491,114	443,725	428,099	443,885

(資料:JR東日本、弘南鉄道㈱)

# 6. 保健・医療・福祉

## 国民健康保険の状況

区 分	平成15年度				平成16年度				平成17年度	平成18年度	
	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	平川市	平川市	
一般状況	世帯数	3,755	1,799	681	6,235	4,041	1,825	678	6,544	6,535	6,488
	退職(世帯)	246	112	64	422	312	128	69	509	522	557
	被保険者数	7,597	3,259	958	11,814	7,597	3,231	944	11,772	11,701	11,437
	退職(人)	726	306	168	1,200	883	346	178	1,407	1,474	1,537
	老人(人)	2,441	1,079	470	3,990	2,305	1,050	452	3,807	3,569	3,392
計(人)	10,764	4,644	1,596	17,004	10,785	4,627	1,574	16,986	16,744	16,366	
療養費状況	一般	1,506,886	646,349	205,931	2,359,166	1,505,368	700,261	232,012	2,437,641	2,472,765	2,484,015
	1人当たり費用額(円)	198,353	198,327	214,959	199,692	198,153	216,732	245,775	207,071	211,329	217,191
	退職	238,400	103,847	60,412	402,659	251,082	109,968	65,489	426,539	530,753	553,903
	1人当たり費用額(円)	328,375	339,369	359,595	335,549	284,351	317,827	367,916	303,155	360,077	360,379
	老人	1,657,156	779,711	427,028	2,863,895	1,706,028	749,584	392,713	2,848,325	2,841,458	2,792,682
	1人当たり費用額(円)	678,884	722,624	908,570	717,768	740,142	713,890	868,834	748,181	796,150	823,314
計	3,402,442	1,529,907	693,371	5,625,720	3,462,478	1,559,813	690,214	5,712,505	5,844,976	5,830,600	
1人当たり費用額(円)	316,095	329,437	434,443	330,847	321,046	337,111	438,510	336,307	349,079	356,263	
保険税賦課状況	1世帯当たり調定額(円)	193,542	167,371	146,052	179,688	189,356	157,423	139,521	175,236	184,735	180,943
	1人当たり調定額(円)	75,896	68,873	68,176	73,013	76,427	66,446	66,215	72,762	77,859	77,890
	1人当たり収納額(円)	69,498	64,641	63,743	63,743	70,180	61,698	60,299	66,954	71,415	72,210
	収納率(%)	91.57	93.86	93.50	92.33	91.83	92.85	91.07	92.02	91.72	92.71

(資料:国保年金課)

## 国民年金の加入状況

(単位:人)

区 分	合 計	第1号被保険者				任意加入者				第3号被保険者			
		計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村
平成14年度	9,883	7,993	5,168	2,157	668	42	24	13	5	1,848	1,111	582	155
平成15年度	9,796	7,963	5,162	2,153	648	43	32	9	2	1,790	1,081	568	141
平成16年度	9,706	7,883	5,132	2,117	634	47	29	13	5	1,776	1,067	567	142
平成17年度	9,489	7,725		7,725		33		33		1,731		1,731	
平成18年度	9,193	7,451		7,451		35		35		1,707		1,707	

(資料:青森社会保険事務局)

## 国民年金の受給状況

(単位:人・千円)

区 分	受給者数	平成15年度				平成16年度				平成17年度	平成18年度
		旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	旧平賀町	旧尾上町	旧碓ヶ関村	計	平川市	平川市
総 数	給付額	3,281,689	1,510,566	611,883	5,404,138	3,354,894	1,537,087	629,940	5,521,921	5,681,508	5,796,092
老 齢 基 礎	受給者数	5,181	2,435	963	8,579	5,267	2,460	984	8,711	8,833	8,947
	給付額	2,768,847	1,307,551	551,655	4,628,053	2,851,713	1,337,228	572,694	4,761,635	4,926,198	5,044,699
障 害 基 礎	受給者数	476	180	57	713	466	183	55	704	708	709
	給付額	434,739	162,852	51,239	648,830	422,907	164,092	48,693	635,692	636,884	633,970
遺 族 基 礎	受給者数	109	55	11	175	111	50	11	172	166	161
	給付額	71,570	38,530	7,764	117,864	74,575	34,546	7,739	116,860	113,541	113,771
そ の 他	受給者数	16	4	3	23	14	3	2	19	12	9
	給付額	6,533	1,633	1,225	9,391	5,699	1,221	814	7,734	4,885	3,652

(資料:青森社会保険事務局)

## 各種検診の受診状況

(単位:人・%)

平成18年度				平成18年度				
区 分	対象者数	受診者数	受診率	区 分	対 象 者	対象者数	受診者数	受診率
4か月児健診	241	217	90.0	基本健康診査	40歳以上男女	10,274	3,491	34.0
1歳児健診	197	193	98.0	生活機能評価のための検査	65歳以上の健康診査受診者	4,059	1,730	42.6
1歳6か月児健診	248	242	97.6	子宮がん検診	20歳以上女性	11,001	687	6.2
3歳児健診	263	258	98.1	乳がん検診	40歳以上女性	8,205	737	9.0
子育て相談		89		骨密度健診	40,45,50,55,60,65,70歳女性	1,725	92	5.3
				胃がん検診	40歳以上男女	12,085	2,434	20.1
				大腸がん検診	40歳以上男女	12,487	2,713	21.7
				肺がん(結核)検診	40歳以上男女	12,309	3,212	26.1
				前立腺がん検診	50歳以上男性	7,445	600	8.1

(資料:健康推進課)

主要死因別死亡数

(単位:人)

区分	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	自殺	不慮の事故	その他	計
平成13年	旧平賀町	63	42	43	22	11	9	58
	旧尾上町	30	21	15	4	4	2	20
	旧碓ヶ関村	13	5	6	2	2	1	11
	計	106	68	64	28	17	12	89
平成14年	旧平賀町	75	41	43	21	9	7	60
	旧尾上町	28	22	14	8	6	3	27
	旧碓ヶ関村	10	7	5	5	1	3	11
	計	113	70	62	34	16	13	98
平成15年	旧平賀町	82	40	44	24	13	12	55
	旧尾上町	37	20	19	15	7	4	24
	旧碓ヶ関村	11	7	13	3	0	1	13
	計	130	67	76	42	20	17	92
平成16年	旧平賀町	72	37	42	24	14	8	55
	旧尾上町	35	17	12	8	1	6	25
	旧碓ヶ関村	11	9	6	1	1	2	13
	計	118	63	60	33	16	16	93
平成17年	旧平賀町	74	55	29	34	11	6	59
	旧尾上町	27	16	20	22	5	3	24
	旧碓ヶ関村	19	7	10	8	3	4	6
	計	120	78	59	64	19	13	89

(資料:健康推進課)

健康福祉関係施設の状況

(平成19年6月1日現在)

(単位:人)

区分	施設の種類	施設数	収容定数	職員数
児童福祉施設	保育所	13	1,020	373
	児童館	2		8
	へき地保育所	1	30	5
障害者福祉施設	身体障害者福祉ホーム	1	7	5
	身体障害者入所授産施設	1	40	(下記と兼務)21
	身体障害者通所授産施設	1	19	(上記と兼務)21
	知的障害者入所更生施設	1	50	29
	知的障害者通所授産施設	1	20	8
老人福祉施設	特別養護老人ホーム	2	125	119
	軽費老人ホーム(ケアハウス)	1	20	7
	有料老人ホーム	1	32	10
	デイサービスセンター	12	283	134
	在宅介護支援センター	5		33
	生活支援ハウス	1	10	3
	認知症高齢者グループホーム	11	180	147
	老人福祉センター	1		1
地域包括支援センター	1		10	
保健施設	介護老人保健施設	3	280	172
	保健センター	3		17
地域福祉センター		2		8
訪問看護ステーション		2		9
福祉事務所		1		42

(資料:福祉課)

生活保護の状況

区分	被保護世帯(世帯)	被保護人数(人)	保護率(%)	一人月平均保護費(円)	保護費総額(千円)
平成18年度	300	411	11.71	117,751	581,335

(資料:民生保護課)

注1.保護停止中を除く

2.保護率の単位はパーミル(千分率:保護率=保護人員÷推計人口×1,000)

3.推計人口は、平成18年4月1日人口

医療施設の状況(平成19年5月31日現在)

区分	病院		診療所		歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数
平賀地域	1	60	9	48	4
尾上地域	0	0	6	0	3
碓ヶ関地域	1	103	0	0	1
計	2	163	15	48	8

(資料:中南地域県民局地域健康福祉部)

要介護認定の状況

(平成19年4月30日現在)

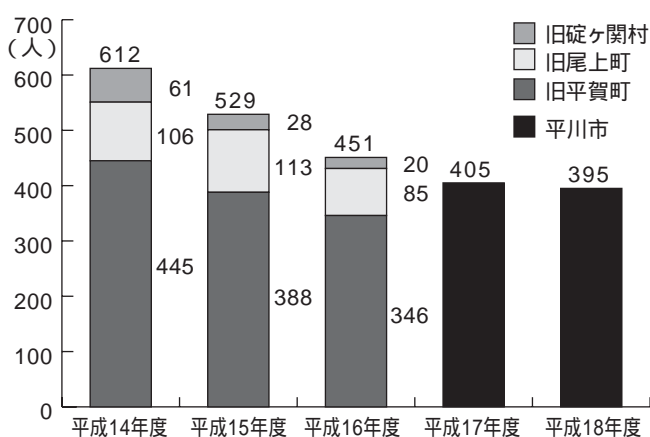
(単位:人)

区分	計	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号被保険者	1,961	387	619	357	234	204	160
第2号被保険者	57	3	12	20	4	9	9
計	2,018	390	631	377	238	213	169

(資料:福祉課)

出稼者の推移

(単位:人)



(資料:市民課)

各種予防接種の受診状況

(単位:人・%)

区分	平成18年度		
	対象者数	接種者数	接種率
ポリオ(1回目)	494	223	45.1
ポリオ(2回目)	694	233	33.6
三種混合(1回目)	454	248	54.6
三種混合(2回目)	527	257	48.8
三種混合(3回目)	667	263	39.4
三種混合(追加)	808	176	21.8
二種混合	312	211	67.6
麻しん・風しん混合(第1期)	270	236	87.4
麻しん・風しん混合(第2期)	262	242	92.4
B C G	254	228	89.8
インフルエンザ(65歳以上)	8,930	2,995	33.5

(資料:健康推進課)

# 7. 教育・文化財

児童数及び生徒数の推移 (各年5月1日現在)

区分	平成15年				平成16年				平成17年				平成18年				平成19年				
	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	
幼稚園	旧平賀町	5	45	51	96	4	39	41	80	3	39	33	72	4	38	41	79	4	43	37	80
	旧尾上町	2	10	20	30	2	13	8	21	2	9	12	21								
	旧碓ヶ関村	3	7	13	20	3	7	9	16	0	0	0	0								
	計	10	62	84	146	9	59	58	117	5	48	45	93								
小学校	旧平賀町	61	647	618	1,265	62	658	595	1,253	62	639	910	1,249	92	977	950	1,927	94	932	963	1,895
	旧尾上町	23	312	280	592	23	300	279	579	24	298	259	557								
	旧碓ヶ関村	7	86	89	175	7	77	87	164	6	73	79	152								
	計	91	1,045	987	2,032	92	1,035	961	1,996	92	1,010	1,248	1,958								
中学校	旧平賀町	28	361	347	708	28	339	358	697	28	336	325	661	42	550	505	1,054	40	538	466	1,004
	旧尾上町	12	164	135	299	12	157	144	301	12	165	160	325								
	旧碓ヶ関村	4	31	38	69	4	34	42	76	4	34	50	84								
	計	44	556	520	1,076	44	530	544	1,074	44	535	535	1,070								
高等学校	旧平賀町	15	308	205	513	15	315	203	518	15	324	190	514	22	436	294	730	21	428	301	729
	旧尾上町	6	117	113	230	7	119	121	240	7	107	124	231								
	旧碓ヶ関村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
	計	21	425	318	743	22	434	324	758	22	431	314	745								
合計	166	2,088	1,909	3,997	167	2,058	1,887	3,945	163	2,024	2,142	3,866	160	2,001	1,790	3,790	159	1,941	1,767	3,708	
尾総高(定)	3	49	49	98	4	38	56	94	5	33	53	86	3	28	50	78	3	37	41	78	

(資料: 学校基本調査)

## 運動施設の利用状況

(単位: 人)

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総合運動施設 スポーツセンター スライム	屋内運動場	49,384	46,934	30,126	27,396
	ランニングコース	1,762	2,364	2,435	4,170
	トレーニングルーム	4,559	9,953	11,271	12,507
	屋内温水プール	7,924	33,329	36,643	38,225
	テニスコート	645	9,303	8,529	8,730
	計	23,807	24,350	23,065	23,562
体育館	23,807	24,350	23,065	23,562	21,826
グラウンド	7,245	8,505	6,548	10,785	8,946
計	31,052	97,129	131,496	123,351	121,800

(単位: 人)

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
おのスポーツセンター	体育館	22,093	20,064	20,730	20,536	18,128
	プール	3,687	2,880	4,804	3,590	2,859
	野球場	7,133	9,048	7,009	7,100	9,805
	テニスコート	2,475	4,748	5,052	6,006	3,897
	イベント広場	2,530	5,520	5,669	585	660
	その他	760	540	480	350	1,865
計	38,678	42,800	43,744	38,167	37,214	
えいゆう館	屋内温水プール	13,236	13,970	13,004	14,337	13,235
	計	13,236	13,970	13,004	14,337	13,235

(資料: 保健体育課)

## 国・県指定文化財一覧表

番号	分類	名称 (数・年代等)
1	国名勝	盛美園
2	国名勝	清藤氏書院庭園
-	国指定登録有形文化財	尾上土蔵(40棟)
3	県史跡	八幡崎遺跡(縄文時代晩期)
4	県重宝(建造物)	猿賀神社本殿(1826年)
5	県無形民族文化財	八幡崎獅子(熊踊)

番号	分類	名称 (数・年代等)
6	県有形文化財・美術工芸品	鱈口(1個1429年)
7	県有形文化財・美術工芸品	菩薩坐像(1体・1670年)
8	県有形文化財・美術工芸品	金梨子地牡丹紋散壽綵巻太刀撥(1口・江戸時代)
9	県無形民族文化財	尾崎獅子踊
10	県無形民族文化財	広船獅子踊
11	県無形民族文化財	古懸獅子(熊踊)

## 市指定文化財一覧表

番号	名称 (数・年代等)	番号	名称 (数・年代等)	番号	名称 (数・年代等)
第1号	首我氏の板碑(4基・1327・1329・1346年)	第26号	石棺(6基・縄文時代後期)	第51号	十一面観音菩薩像(1体)
第2号	薬師如来(1体・室町時代)	第27号	襖棺(6点・縄文時代後期)	第52号	古山伏獅子頭(1対)
第3号	井沢遺跡出土品(1括・弥生時代)	第28号	土偶(1点・縄文時代後期)	第53号	鉦ノ緒(5本・1773・1847・1857年)
第4号	大光寺獅子踊	第29号	石敢当(1基・江戸時代末期)	第54号	梵鐘(1口・1726年)
第5号	石郷獅子舞	第30号	八股鹿子踊調本(1巻・1526年)	第55号	真言宗山伏杖及び不動明王(1組)
第6号	新屋獅子踊	第31号	沖館獅子踊	第56号	鶴亀石(1基)
第7号	柏木町荒馬踊	第32号	町居獅子踊	第57号	卯辰両年供養塔(1基・1832年)
第8号	松明流し	第33号	百万遍の鉦(1口・1683年)	第58号	惣染堂塔(1基・1768年)
第9号	棟札(1枚・1610年)	第34号	獅子頭(1対・室町時代)	第59号	貞傳上人の万体仏(1体)
第10号	鱈口(1個・1722年)	第35号	棟札(1枚・1606年)	第60号	貞傳上人の千体仏(1体)
第11号	五大力菩薩(5体・鎌倉時代)	第36号	ポーノ神送り	第61号	御領分中御山絵図(1冊)
第12号	薬師如来立像(1体・室町時代)	第37号	青い目の人形ドロン・ベル・アルパニー(1体)	第62号	津軽藩造林元帳及び留帳(1式・9冊・1802年)
第13号	優婆塞像(1体・室町時代)	第38号	木村日記(乾・坤)(上下2巻・1832~1899年)	第63号	猿賀神社棟札(7枚・1654~1856年)
第14号	観音絵馬(1枚・1576年)	第39号	梵鐘(1口・1849年)	第64号	左向不動尊・矜羯羅童子・叱叱迦童子(1組・平安時代)
第15号	絵馬(4枚・1662・1670・1672年)	第40号	一光三尊来迎阿弥陀如来(1体・鎌倉時代)	第65号	八代藩主信明公の文書(1通・1784年)
第16号	鏡(1枚・室町時代)	第41号	金剛力士(二尊)(2体・1823年)	第66号	巡遣使下向の御触書(1通・1838年)
第17号	新屋家伝来の武具(1括・江戸時代初期)	第42号	孔雀かしら(1本)	第67号	通行手形(1通・1656年)
第18号	刀(1口・鎌倉時代)	第43号	比叡山回峰行発願文(1幅)	第68号	久吉駒踊
第19号	刀(1口・鎌倉時代)	第44号	蕨手刀(1口・奈良時代)	第69号	舊護摩堂八大龍天井画(1点・1858年)
第20号	羽織(1枚・江戸時代)	第45号	弥生前期合葬棺第1号(1点・弥生時代前期)	第70号	四戸橋遺跡出土品岩(1点・縄文時代中期)
第21号	観音立像(1体・室町時代)	第46号	弥生前期合葬棺第2号(1点・弥生時代前期)	第71号	四戸橋遺跡出土品土偶(1点・縄文時代中期)
第22号	三重塔址(1605年)	第47号	弥生中期単葬棺(1点・弥生時代)	第72号	古文書(5冊・江戸時代)
第23号	卯辰両歳餓死者供養塔(ハビ塚)(1基・1832年)	第48号	丑盛(土盛塚)(弥生時代)	第73号	役ノ行者像(1体・江戸時代中期)
第24号	石敢当(1基・江戸時代末期)	第49号	疫ノ神送り(1773年)	第74号	菅原道真像(1体・江戸時代中期)
第25号	追分石(1基・1886年)	第50号	阿弥陀如来絵像(1幅・1357年)	第75号	不動明王(1体・1692年)
				第76号	不浪寄八幡御神像(2体)

(資料: 生涯学習課)



# 8. 消防・公安

## 火災の状況

区 分		平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
火災発生件数(件)	旧平賀町	6	15	12	8	11
	旧尾上町	6	2	3	1	
	旧碓ヶ関村	3	2	1	0	
	計	15	19	16	9	
建物焼損面積(m <sup>2</sup> )	旧平賀町	182	389	853	254	550
	旧尾上町	323	120	104	0	
	旧碓ヶ関村	29	1	16	0	
	計	534	510	973	254	
損害額(千円)	旧平賀町	9,359	16,284	26,724	6,745	14,065
	旧尾上町	24,408	5,344	25,679	39	
	旧碓ヶ関村	19,011	39	398	0	
	計	52,778	21,667	52,801	6,784	
死者(人)	旧平賀町	1	1	1	0	1
	旧尾上町	0	0	0	0	
	旧碓ヶ関村	0	0	1	0	
	計	1	1	2	0	
負傷者(人)	旧平賀町	0	0	2	1	0
	旧尾上町	0	0	0	0	
	旧碓ヶ関村	2	0	0	0	
	計	2	0	2	1	
焼損棟数(棟)	旧平賀町	4	10	17	7	8
	旧尾上町	6	2	2	0	
	旧碓ヶ関村	2	1	1	0	
	計	12	13	20	7	
林野焼損面積(a)	旧平賀町	0	4	0	0	0
	旧尾上町	0	0	0	0	
	旧碓ヶ関村	0	0	0	0	
	計	0	4	0	0	

(資料:消防年報)

## 救急業務の状況

区 分		平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
出場件数(件)	旧平賀町	450	474	499	501	816
	旧尾上町	178	221	225	220	
	旧碓ヶ関村	145	135	123	155	
	計	773	830	847	876	
交通事故(件)	旧平賀町	44	52	68	43	82
	旧尾上町	29	33	24	32	
	旧碓ヶ関村	17	14	18	15	
	計	90	99	110	90	
一般負傷(件)	旧平賀町	39	67	55	50	98
	旧尾上町	15	26	29	23	
	旧碓ヶ関村	17	11	15	25	
	計	71	104	99	98	
急 痲(件)	旧平賀町	282	286	281	321	466
	旧尾上町	105	131	144	134	
	旧碓ヶ関村	51	59	46	55	
	計	438	476	471	510	
その他(件)	旧平賀町	63	42	57	55	122
	旧尾上町	12	13	12	17	
	旧碓ヶ関村	60	51	44	60	
	計	135	106	113	132	
不搬送(件)	旧平賀町	22	27	38	32	57
	旧尾上町	17	18	16	14	
	旧碓ヶ関村	8	7	6	11	
	計	47	52	60	57	

(資料:消防年報)

## 交通事故の発生状況

区 分		平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
事故件数(件)	旧平賀町	103	103	91	101	132
	旧尾上町	44	52	56	55	
	旧碓ヶ関村	16	17	16	15	
	計	163	172	163	171	
負傷者数(件)	旧平賀町	127	129	115	123	174
	旧尾上町	64	58	72	75	
	旧碓ヶ関村	28	22	19	23	
	計	219	209	206	221	
死者数(件)	旧平賀町	2	0	1	2	2
	旧尾上町	0	2	0	1	
	旧碓ヶ関村	1	1	1	1	
	計	3	3	2	4	

(資料:黒石警察署)

## 消防組織(平成19年4月1日現在)

### 【消防本部】

消防本部数	1本部
消防署数	1署
消防職員数	66人

### 【碓ヶ関分署】

消防職員数	12人
-------	-----

### 【消防団】

分 団 数	20分団
部 数	36部
消防団員数	801人(718人)

(資料:平川市消防本部、弘前地区消防事務組合東消防署碓ヶ関分署)  
消防団員数は定数、( )内は実数

## 消防車等の保有台数(平成19年4月1日現在)

区 分	消防本部	碓ヶ関分署	消防団
消防ポンプ自動車	2台	0台	18台
水槽付消防ポンプ自動車	1台	1台	0台
救助工作車	1台	0台	0台
救 急 車	3台	1台	0台
化 学 車	1台	0台	0台
そ の 他	4台	1台	0台
小型動力ポンプ付積載車	0台	0台	23台
計	12台	3台	41台

(資料:平川市消防本部、弘前地区消防事務組合東消防署碓ヶ関分署)

## 男女別免許保有者の状況

(単位:件、人)

区 分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	
男	旧平賀町	7,593	7,628	7,572	7,500	11,968
	旧尾上町	3,478	3,500	3,506	3,504	
	旧碓ヶ関村	1,137	1,126	1,124	1,103	
	計	12,208	12,254	12,202	12,107	
女	旧平賀町	5,954	6,072	6,168	6,201	9,724
	旧尾上町	2,688	2,725	2,772	2,779	
	旧碓ヶ関村	738	740	739	734	
	計	9,380	9,537	9,679	9,714	
計	旧平賀町	13,547	13,700	13,740	13,701	21,692
	旧尾上町	6,166	6,225	6,278	6,283	
	旧碓ヶ関村	1,875	1,866	1,863	1,837	
	計	21,588	21,791	21,881	21,821	

(資料:黒石警察署)

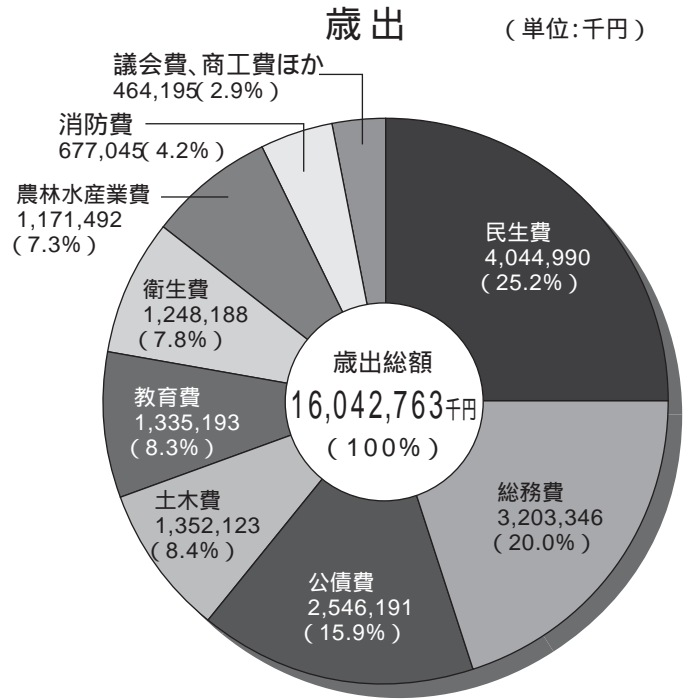
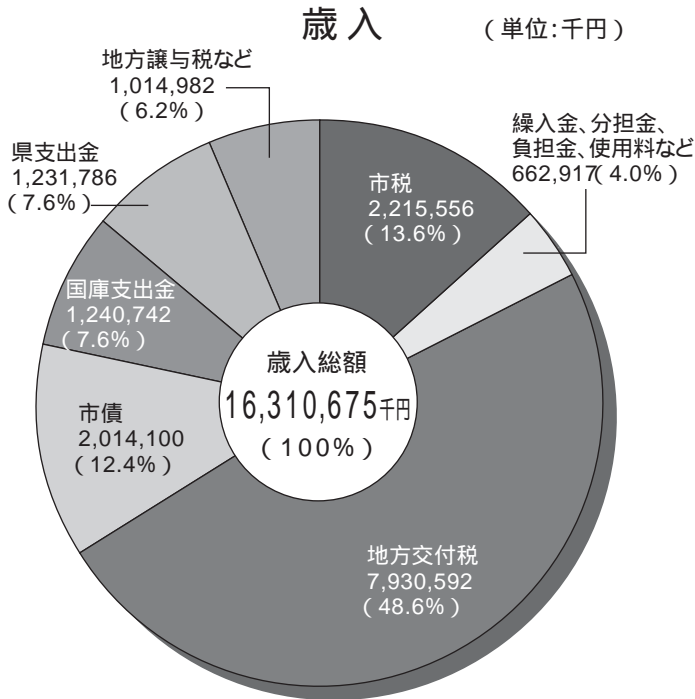
## 交番・駐在所の状況(平成19年4月1日現在)

地区名	交番・駐在所	警察官
平賀地域	平賀交番	7人
"	松崎駐在所	1人
尾上地域	尾上駐在所	2人
"	日沼駐在所	1人
碓ヶ関地域	碓ヶ関駐在所	2人
計		13人

(資料:黒石警察署)

# 9. 財政

## 平成18年度一般会計決算の状況



### 一般会計決算

#### 歳入

(単位:千円、%)

	金額	構成比
市税	2,215,556	13.6
地方譲与税	513,255	3.2
利子割交付金	6,128	0.0
配当割交付金	3,175	0.0
株式等譲渡所得割交付金	2,156	0.0
地方消費税交付金	313,146	1.9
ゴルフ場利用税交付金	16,346	0.1
自動車取得税交付金	108,341	0.7
地方特例交付金	46,427	0.3
地方交付税	7,930,592	48.6
交通安全対策特別交付金	6,008	0.0
分担金及び負担金	206,722	1.3
使用料及び手数料	123,804	0.8
国庫支出金	1,240,742	7.6
県支出金	1,231,786	7.6
財産収入	36,936	0.2
寄附金	1,680	0.0
繰入金	82	0.0
繰越金	104,765	0.6
諸収入	188,928	1.2
市債	2,014,100	12.4
合 計	16,310,675	100.0

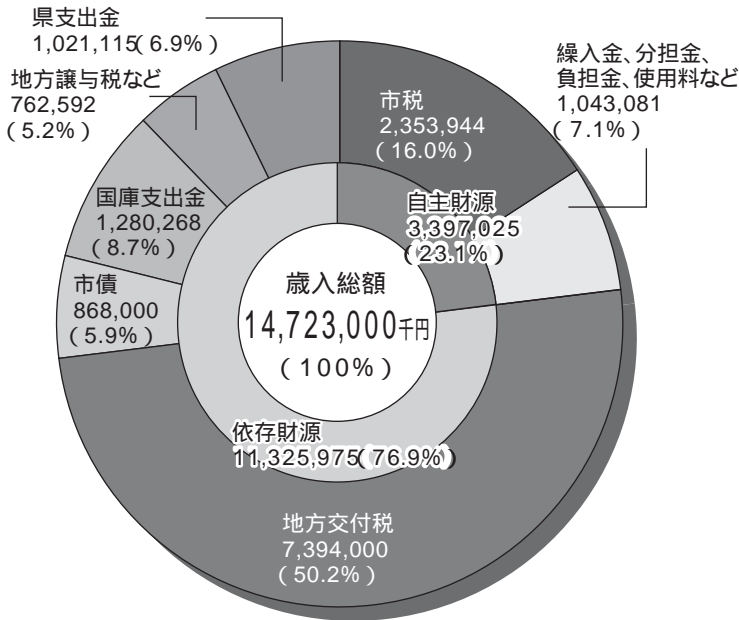
#### 歳出

(単位:千円、%)

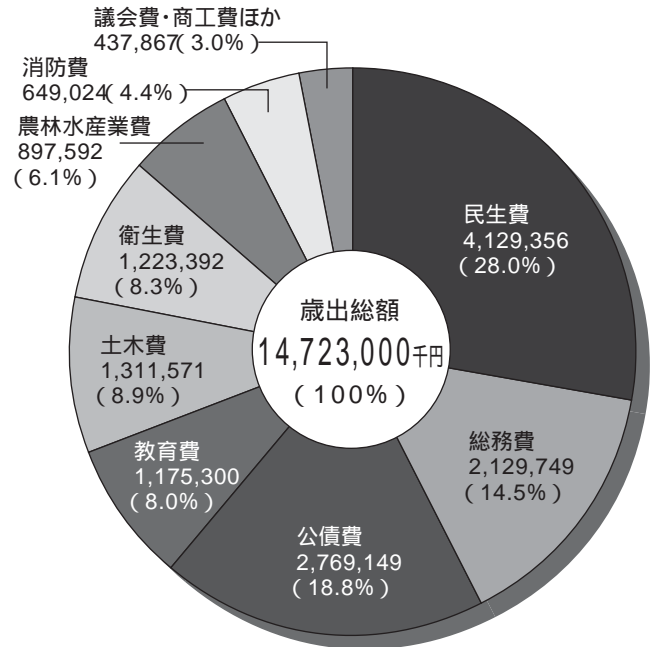
	金額	構成比
議会費	236,754	1.5
総務費	3,203,346	20.0
民生費	4,044,990	25.2
衛生費	1,248,188	7.8
労働費	9,835	0.1
農林水産業費	1,171,492	7.3
商工費	134,651	0.8
土木費	1,352,123	8.4
消防費	677,045	4.2
教育費	1,335,193	8.3
災害復旧費	82,955	0.5
公債費	2,546,191	15.9
合 計	16,042,763	100.0

平成19年度一般会計当初予算構成比(前年比6.1%減)

歳入 (単位:千円)



歳出 (単位:千円)



一般会計当初予算構成比

歳入

(単位:千円、%)

項目	金額	構成比	項目	金額	構成比
市税	2,353,944	16.0	自主財源	3,397,025	23.1
繰入金、分担金、負担金、使用料など	1,043,081	7.1			
地方交付税	7,394,000	50.2			
市債	868,000	5.9	依存財源	11,325,975	76.9
国庫支出金	1,280,268	8.7			
地方譲与税など	762,592	5.2			
県支出金	1,021,115	6.9			
合計	14,723,000	100.0			

歳出

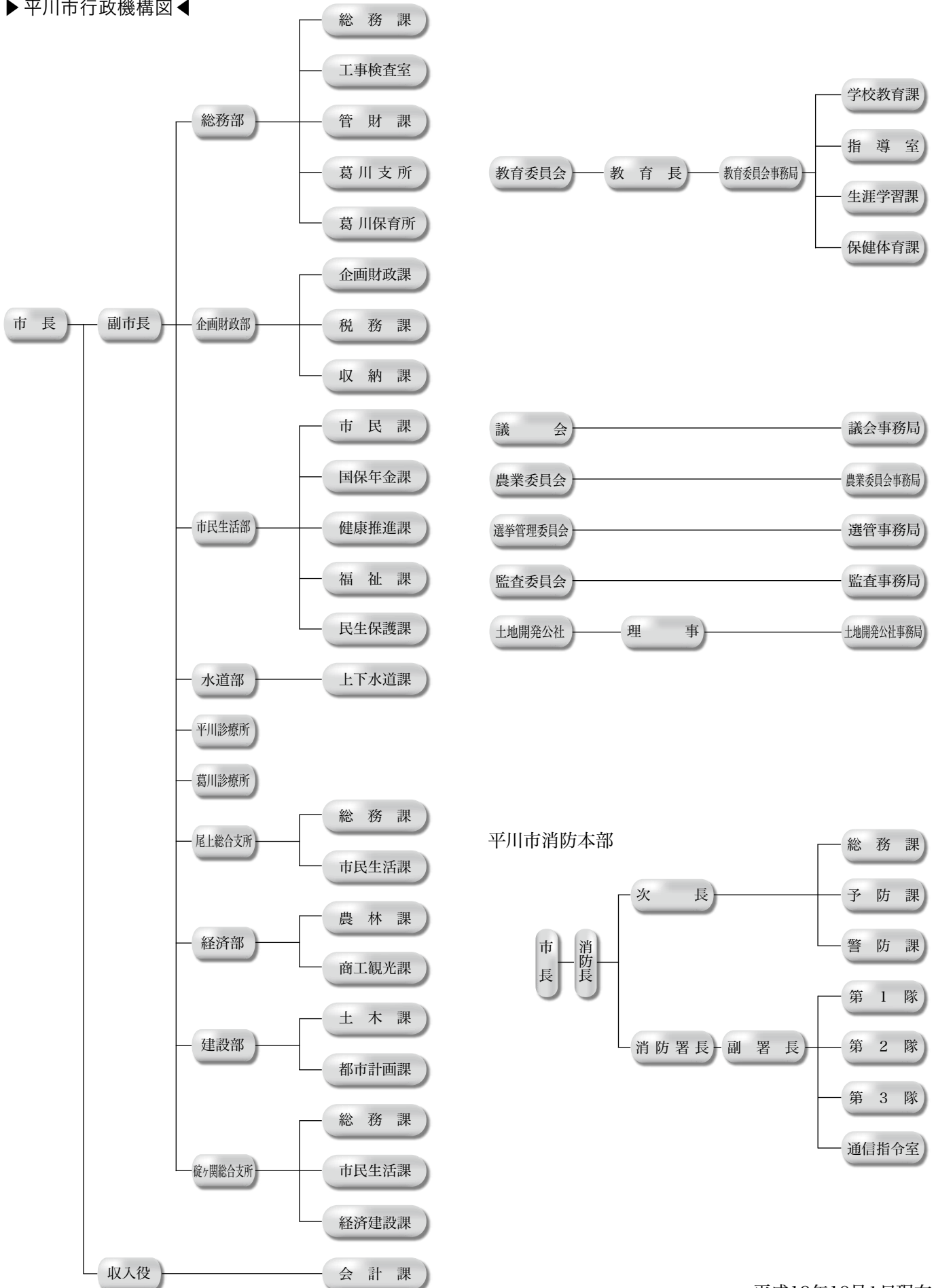
(単位:千円、%)

項目	金額	構成比
民生費	4,129,356	28.0
総務費	2,129,749	14.5
公債費	2,769,149	18.8
教育費	1,175,300	8.0
土木費	1,311,571	8.9
衛生費	1,223,392	8.3
農林水産業費	897,592	6.1
消防費	649,024	4.4
議会費・商工費ほか	437,867	3.0
合計	14,723,000	100.0

(資料:企画財政課)

# 10. 行政・議会

## ▶ 平川市行政機構図 ◀



平成19年10月1日現在

■市 長

外 川 三千雄 (任 期:平成18年2月5日～平成22年2月4日)

■副市長

小 野 幸 満 (任 期:平成18年2月24日～平成22年2月23日)

■収入役

秋 元 俊 一 (任 期:平成18年2月24日～平成22年2月23日)

■教育長

對 馬 以佐美 (任 期:平成18年2月24日～平成20年2月23日)

■歴代議長

初代 大 川 喜代治 (就任期間:平成18年1月5日～平成19年7月31日)

2代 小笠原 勝 則 (任 期:平成19年8月2日～平成23年7月31日)

■歴代副議長

初代 工 藤 俊 雄 (就任期間:平成18年1月5日～平成18年6月30日)

2代 小田桐 信 勝 (就任期間:平成18年7月18日～平成19年7月31日)

3代 佐 藤 雄 雄 (任 期:平成19年8月2日～平成23年7月31日)

■議員名簿 (平成19年10月1日現在)

第1選挙区	齋 藤 剛	小 野 長 道
福 士 恵美子	齋 藤 正 明	佐 藤 雄
大 川 登	齋 藤 政 子	山 口 昇
古 川 敏 夫	田 中 友 彦	小 野 忠 男
古 川 昭 二	對 馬 實	工 藤 竹 雄
古 川 哲 文	小 野 敬 子	第3選挙区
葛 西 清 仁	第2選挙区	佐々木 利 正
今 井 章 也	齋 藤 律 子	成 田 敏 昭
小笠原 勝 則	小田桐 信 勝	木 村 兼 由

(敬称略)



# 旧平賀町のあゆみ

元号・西暦	主 な 事 柄	元号・西暦	主 な 事 柄
昭和30年 1955	大光寺・柏木町・竹館村・尾崎村・町居村が合併、「平賀町」誕生(人口26,730人)。平賀町商工会創立。平賀町消防団結団(21分団667名)。平賀町役場庁舎完成。平賀郵便局開局。葛川支所庁舎完成。議会議員数92・30名となる。	昭和58年 1983	更生施設「青葉寮」開設。町の花・鳥・木を制定。広船小学校移転新築。老人福祉センター完成。
昭和31年 1956	本町大火により県立柏木農業高等学校全焼新築。小国診療所設置。	昭和59年 1984	町第三次長期総合計画策定。松崎小学校移転新築。中央公園開設。温川地区に高品位の金鉱床が発見される(埋蔵量100万t)。
昭和32年 1957	平賀病院開院(106床)。町営住宅20棟完成(沖館)。平賀東中学校開校。善光寺平分校開校。役場葛川支所間通信施設開通(電話)。	昭和60年 1985	町合併30周年記念式典。日本の名水百選に「湊神の清水」指定。竹館小学校完成。
昭和33年 1958	新町建設功労者として内閣総理大臣表彰。	昭和61年 1986	雇用促進住宅平賀宿舍完成。消防団活性化モデル事業に指定。白岩地区環境保全整備事業完了。国勢調査においてDID地区(人口集中地区)に認定。
昭和34年 1959	町森林組合発足。	昭和62年 1987	第1回「町長と語るつどい」を開催。第1回白岩つつじ祭り開催。津軽高原ゴルフ場オープン。
昭和35年 1960	葛川診療所完成。	昭和63年 1988	小和森小学校移転新築。白岩森林公園に「白岩森の家」完成。
昭和36年 1961	平賀病院患者送迎バス運行開始。農業構造改善事業(第1次)指定。善光寺平開拓地に電灯がつく。	平成元年 1989	葛川診療所移転新築。町土地開発公社が「光城団地(152区画)」を分譲。
昭和37年 1962	弘南鉄道平賀駅庁舎完成。主要道路完全除雪開始。	平成2年 1990	平賀・尾上地区消防庁舎移転新築。不燃物処理場完成。上水道事業全施設完成。岩手県「山田町」と友好親善都市締結。
昭和38年 1963	町消防団日本消防協会会長表彰。ごみ焼却場完成。	平成3年 1991	平賀デイ・サービスセンター完成。平賀東中学校増改築。
昭和39年 1964	葛川へき地保育所開設。町章決定。平賀町常備消防部設置(常備団員17名・ポンプ車2台)。中央公民館完成。	平成4年 1992	町介護支援センター完成。下水道一部供用開始。
昭和40年 1965	小国出張所開設。	平成5年 1993	館田地区農業集落排水処理施設供用開始。滝の沢峠にふれあい館完成。
昭和41年 1966	町立中央保育所開設。学校給食センター開設。	平成6年 1994	平賀病院病棟増改築。志賀坊森林公園整備。町文化センター開館。松崎工業団地分譲開始。
昭和42年 1967	平賀西中学校開校。林業構造改善事業完了。	平成7年 1995	柏木小学校校舎完成。町制施行40周年。
昭和43年 1968	小国へき地保育所開設。バス路線弘前線開通(平賀～大坊～弘前)。	平成8年 1996	町第四次長期総合計画策定。シルバー人材センター事業開始。
昭和44年 1969	平賀・尾上地区消防事務組合発足(政令指定による)。農業構造改善事業(第2次)指定。山村振興地区に指定。	平成9年 1997	大坊地区農業集落排水処理施設の併用開始。高齢者ふれあいセンター設置。小国小中学校改築。
昭和45年 1970	農業振興地域指定。防災用無線電話局開局。町展望台に無料休憩所新設。	平成10年 1998	葛川小中学校改築。志賀坊森林公園整備完成。第二光城団地(156区画)分譲。
昭和46年 1971	町基本構想策定。弘前広域都市計画区域の決定。国土調査事業着手。	平成11年 1999	町健康センター業務開始。議会議員定数20名となる。平賀西中学校体育館改築完成。
昭和47年 1972	救急指令活動開始(救急車導入)。温川地区大規模草地造成完了。町営火葬場移転改築完成。	平成12年 2000	鹿児島県知覧町と友好親善交流盟約。平賀・尾上地区火葬場「やすらぎ聖苑」稼働開始。容器包装分別収集開始。ねぶた展示館完成。
昭和48年 1973	特別豪雪地帯に指定。町土地開発公社設立。有線放送開始。一本木集落再編モデル事業完了(21)。森林組合合併(現弘前森林組合へ)。	平成13年 2001	平賀駅前広場整備事業完成。
昭和49年 1974	農村総合整備モデル事業実施計画地区に決定。	平成14年 2002	町学校給食センター移転新築。広船地区農業集落排水供用開始。
昭和50年 1975	平賀町消防団消防庁官賞受賞。町営ゴミ処理場設置。町議会議員定数22名となる。町民体育館完成。	平成15年 2003	太陽光発電装置稼働。「スポーツランドひらか」完成。
昭和51年 1976	平賀東小学校開校。大木平研修センター開設。町民憲章制定。	平成16年 2004	葛川支所小国出張所、小国へき地保育所閉所。町循環バス(100円バス)運行開始。志賀坊ふれあい館オープン。平賀西中学校校舎改築。
昭和52年 1977	福祉バス運行開始。郷土資料館オープン。平賀病院移転新築。	平成17年 2005	中央保育所民間移譲。
昭和53年 1978	克雪センター完成。つばくら団地造成完了4ha。町営相撲場完成。	平成18年 2006	3町村(旧平賀町、旧尾上町、旧碓ヶ関村)が合併、平川市誕生。
昭和54年 1979	町新長期総合計画策定。役場庁舎・農村環境改善センター完成。		
昭和55年 1980	町営住宅1～3号棟(西の平)完成(4～5号棟56年12月)。十和田カントリークラブオープン(「びわの平ゴルフ倶楽部」)。町国土利用計画策定。県立柏木農業高等学校移転新築。		
昭和56年 1981	平賀町商工会館完成。大坊小学校完成。特別養護老人ホーム「緑青園」開園。平賀警察官派出所移転新築。交通防犯指導所併設。中央保育所移転新築。		
昭和57年 1982	名誉町民条例指定(第1号・木村甚弥氏)。精神薄弱者		

(資料:平賀町勢要覧2004年版)

# 旧尾上町のあゆみ

元号・西暦	主 な 事 柄	元号・西暦	主 な 事 柄
昭和30年 1955	尾上町と猿賀村が合併、新尾上町が発足。役場庁舎が完成。	平成2年 1990	高校誘致期成同盟会発足。 平賀尾上消防署新庁舎完成。下水道一部供用開始、水洗へ移行。農村環境改善センター「さるか荘」完成。国土庁の農村アメニティ・コンクール優秀賞受賞。
昭和31年 1956	大字大袋が分町、田舎館村へ編入。大字追子野木・久米が分町、黒石市へ編入。	平成3年 1991	名誉町民に故葛西四雄氏、櫻田誠一氏。地域福祉・保健センターとふるさとセンター完成。町民憩いの広場完成。
昭和32年 1957	広報おのえ発刊。	平成4年 1992	尾上町誌発行。尾上農工団地完成。農林水産省の農村景観百選に選ばれる。みなみの団地完成。“ふるさと尾上町の生け垣を守り育てる条例”が制定。
昭和33年 1958	町立尾上高校(定時制)発足。	平成5年 1993	学校給食センター新築。新屋町に共同墓地完成。
昭和34年 1959	田舎館村大字大袋字塚越の一部が境界を変更し、尾上町に編入。	平成6年 1994	ジョイフルスポーツプラザおのえ完成。
昭和35年 1960	町章設定。	平成7年 1995	尾上町シンボルマークを発足。自然の森が完成。
昭和36年 1961	町表彰条例を制定。	平成9年 1997	尾上町総合センター建設に着手。
昭和37年 1962	黒石地区清掃施設組合加入。平賀地区伝染病隔離病舎一部事務組合加入。公明選挙の町宣言。	平成10年 1998	高木字原富と新屋町字松下の一部が尾上字栄松に編入。津軽広域連合が設立。町総合センター完成。三味線奏者福土正勝顕彰碑建立。
昭和38年 1963	町旗完成。	平成11年 1999	青森県立尾上総合高等学校開校。はずね保育園新築落成。宮城県亘理町との親善友好都市締結10周年記念交流会。東京尾上会発足。第二みなみの住宅団地着工。
昭和39年 1964	公民館東分館完成、尾上中学校完成。合併10周年記念式典。	平成12年 2000	平賀・尾上地区やすらぎ聖苑(火葬場)開業。容器包装分別収集はじまる。
昭和40年 1965	新尾上町農協発足。町立金田保育所完成。赤ちゃん会議発足。	平成13年 2001	環境省「かおり風景百選」に選ばれる。日沼地区コミュニティ施設完成。
昭和41年 1966	尾上高校廃校。	平成14年 2002	ほっとする空間推進運動開始。
昭和42年 1967	学校給食センター完成。	平成15年 2003	猿賀小学校校舎改修、屋内運動場改築完成。
昭和43年 1968	交通安全協会、社会福祉協議会発足。町民プール完成。	平成16年 2004	町児童館増築完成。四季の蔵「もてなしロマン館」完成。猿賀小学校創立30周年記念式典。尾上中学校建設事業校舎工事開始。
昭和44年 1969	平賀町と広域消防発足。電報電話局設置、町内ダイヤル化。さるかガーデンライン全面舗装。金屋児童館、役場増改築完成。	平成17年 2005	町内の小中学校2学期制導入。尾上中学校校舎完成。
昭和45年 1970	もみじ学園開園。	平成18年 2006	3町村(旧平賀町、旧尾上町、旧碓ヶ関村)が合併、平川市誕生。
昭和46年 1971	国民健康保養センター「さるか荘」開館。中央公民館完成。		
昭和47年 1972	猿賀小学校と日沼小学校が統合し「猿賀小学校」となる。老人憩いの家完成。		
昭和48年 1973	厚生年金青森おのえ荘完成。誘致企業第1号共和工業創業。町文化財を指定。		
昭和49年 1974	冠婚葬祭の簡素化運動実施。合併20周年記念式典、猿賀小学校落成式。		
昭和50年 1975	日沼地区会館落成。		
昭和51年 1976	町立さるか保育所新築落成。さるか公民館落成。防災無線・広報無線放送開始。		
昭和52年 1977	金田小学校改築落成と創立100周年記念式典。町民体育館完成。		
昭和53年 1978	農村総合整備モデル事業導入実施。東公民館完成。		
昭和54年 1979	樹園地農道網整備事業導入実施。李平遺跡発掘。		
昭和55年 1980	高木遺跡発掘。施設野菜省エネルギーモデル団地完成。新山地区狙い手センター完成。		
昭和56年 1981	蒲田地区狙い手センター完成。長田地区狙い手センター完成。町立おのえ幼稚園開園。		
昭和57年 1982	広域簡易水道給水開始。尾上海洋センター完成。農村婦人の家完成。津軽ワイン前処理加工場完成。		
昭和58年 1983	保健文化賞受賞。猿賀公園完成(工期13年)。八幡崎地区農村研修センター完成。		
昭和60年 1985	合併30周年記念式典、町民憲章、町の花・鳥・木・町民歌制定。59年産米反収日本一。金屋多目的研修施設完成。		
昭和61年 1986	国道102号線バイパス開通。		
昭和62年 1987	町コンピューターシステム電算利用優良町村表彰受賞。		
昭和63年 1988	猿賀小学校グラウンド完成。		
平成元年 1989	宮城県亘理町と親善友好都市を締結。県立尾上工業		

(資料:平成13年尾上町勢要覧他)

# 旧碓ヶ関村のあゆみ

元号・西暦	主 な 事 柄	元号・西暦	主 な 事 柄
明治22年 1889	市制・町村制施行により、碓ヶ関村・古懸村・久吉村合併。	昭和60年 1985	開。第1回御関所まつり開催。 林業休養センター供用開始。流雪溝・消雪パイプ完成。碓ヶ関斎場新築落成。
明治28年 1895	弘前～碓ヶ関間の奥羽線開通。	昭和61年 1986	碓ヶ関営林署が碓ヶ関営林事務所となる。東北縦貫自動車道青森線(青森～浦和)全線開通。碓ヶ関村社会福祉協議会法人化。
明治32年 1899	奥羽本線の碓ヶ関～白沢間開通。白沢～大館間開通。	昭和62年 1987	碓ヶ関村のシンボル花、鳥、木、制定。
明治35年 1902	三笠山公園完成。	昭和63年 1988	碓ヶ関村民憲章制定。高速バス「あすなる号」の碓ヶ関停留所開通。
明治38年 1905	大火で283戸中227戸焼失、碓ヶ関小学校も類焼。久吉分教場を開設。	平成元年 1989	村制施行100周年記念式典。碓ヶ関音頭完成。
明治39年 1906	小落前に碓ヶ関小学校を新築移転する。	平成2年 1990	第45回国民体育大会バイアスロン競技会開催。久吉ダム建設礎式、工事本格化。3年ぶりに御関所まつり復活。中学校新校舎落成式。碓ヶ関小学校スキースロープ完成。
明治43年 1910	久吉分教場を新築し尋常科4年生まで収容し、5、6年生は本校に通学。	平成3年 1991	公衆浴場「久吉たけのこ温泉」利用開始。三笠山公園が「防災の森」に指定。
大正2年 1913	碓ヶ関小学校に高等科併置し、碓ヶ関尋常小学校となる。	平成4年 1992	久吉地区育苗施設(温泉熱利用)では種作業開始。久吉ダム水道事業起工式。
大正15年 1926	碓ヶ関郵便局、郵便年金業務を開始。古懸小学校に青年訓練所、農業補修科を併置。	平成5年 1993	庁舎に新会計システム導入。村営不燃物処理場完成。
昭和4年 1929	碓ヶ関営林署、大鰐営林署から分離独立。	平成6年 1994	地域福祉・保健センター(ハッピーハウス)完成。久吉ダム完成。
昭和7年 1932	碓ヶ関郵便局に公衆電話機を設置し、区内呼び出し通話業務を開始。	平成7年 1995	古懸地区の四戸橋遺跡から、縄文時代中期の岩偶が出土。
昭和9年 1934	古懸小学校に青年学校を併置。	平成8年 1996	碓ヶ関村が過疎地域に指定。古懸地区の四戸橋遺跡から板状土偶が完全形で出土。第1回碓ヶ関村たけのこマラソン大会開催。
昭和10年 1935	碓ヶ関郵便局、電話交換業務を開始。加入者16軒。	平成9年 1997	碓ヶ関中学校創立50周年記念式典開催。久吉浄化センター完成・在宅介護支援センター完成。
昭和22年 1947	新制碓ヶ関中学校創立。民部平小学校分校を創立。	平成10年 1998	住民基本台帳電算化。久吉温泉自然休暇村「たけのこ里」オープン。特産品直売所オープン。屋内村民プール「ゆうえい館」オープン。
昭和27年 1952	民部平分校、民部平小・中学校に昇格独立。	平成11年 1999	古懸浄化センター完成。「津軽関の庄」が道の駅いかりがせきに指定。
昭和29年 1954	弘前～大鰐間の直通バスが運行開始。	平成12年 2000	碓ヶ関浄化センター完成。「津軽関の庄」文化観光館オープン。
昭和31年 1956	役場前の平川河川敷に観光用遊園地とプールを建設。	平成13年 2001	高齢者世話付住宅「やすらぎの家」完成。村立碓ヶ関保育所民間移譲。
昭和33年 1958	民部平開拓道路完成。碓ヶ関の温泉を県下始めて統合。	平成14年 2002	古懸コミュニティ浴場完成。
昭和35年 1960	集中豪雨で碓ヶ関、大鰐など大被害(被災家屋5,400余戸、被害総額26億余円)。	平成15年 2003	碓ヶ関温泉会館完成。
昭和37年 1962	碓ヶ関～小坂線バス運行開始。	平成17年 2005	碓ヶ関幼稚園閉園。道の駅いかりがせきに温泉交流館「御飯屋御殿」完成。碓ヶ関御関所を道の駅いかりがせきに移設。
昭和38年 1963	平川大洪水。番所橋を除く全部の橋が流失、国道も損壊するなど被害甚大。	平成18年 2006	3町村(旧平賀町、旧尾上町、旧碓ヶ関村)が合併、平川市誕生。
昭和39年 1964	郵政省簡易保険保養センター落成。		
昭和40年 1965	碓ヶ関駅、急行停車駅となる。		
昭和41年 1966	(財)黎明郷リハビリテーション病院竣工。碓ヶ関村立幼稚園を開設。豪雨により大洪水(8ヶ所の橋流失、民家60戸全半壊、水田・農地被害8億円)。		
昭和42年 1967	久吉分校、碓ヶ関小学校に統合閉校。村章制定される。温水プール完成。二の渡橋が永久橋となる。		
昭和43年 1968	村営共同浴場(温泉会館)落成。三笠橋、不動橋完成。碓ヶ関陸橋完成。		
昭和45年 1970	朝霧橋竣工。新矢立トンネル開通。津軽湯ノ沢駅、折橋に移転。		
昭和46年 1971	民部平小・中学校、碓ヶ関小・中学校に統合閉校。遠部ダム建設事務所開設。老人憩の家完成。		
昭和47年 1972	弘前地区消防事務組合碓ヶ関出張所が設置され、常備消防となる。生活改善センター完成。		
昭和50年 1975	役場庁舎完成。遠部ダム完成。		
昭和54年 1979	古懸小学校を統合した統合碓ヶ関小学校が新築落成。商工会館完成。高田地下道開通。		
昭和55年 1980	保育所完成。東北縦貫自動車道碓ヶ関～大鰐間開通。清野沢ゴミ焼却場完成。		
昭和56年 1981	広報防災無線開局。古懸地区公民館、同コミュニティ浴場完成。中央公民館完成。		
昭和57年 1982	古懸、碓ヶ関の農協が合併し新碓ヶ関村農業共同組合発足。久吉地区公民館完成。第1回公民館まつり開催。		
昭和57年 1984	碓ヶ関駅が簡易委託駅となる。碓ヶ関御関所復元公		

(資料:碓ヶ関村閉村記念誌)



# 官公庁・主な施設一覧

施設名	住所	電話(市外0172)	施設名	住所	電話(市外0172)
<b>1.庁舎</b>					
平川市役所(本庁舎)	柏木町藤山25-6	44-1111(代)	向野町会集会所	沖館向野1-22	
平川市尾上総合支所(分庁舎)	猿賀南田15-1	"	松野地区集会所	尾崎稲元38-20	
平川市碓ヶ関総合支所	碓ヶ関三笠山107-3	"	一本木コミュニティセンター	葛川一本木平30-1	
平川市葛川支所	葛川田の沢口5-1	55-2544	町居集会所(つつみの家)	町居山元141	44-2931
平川市消防本部	平田森前田331	44-3171	大木平集会所	切明温川沢1-28	55-2556
平川市消防署	"	44-3122	井戸沢集会所	切明上井戸42-6	55-2357
火災情報テレホン		44-9119	八幡崎地区農業研修センター	八幡崎宮本85-3	57-4719
救急医療情報		44-2999	金屋地区多目的研修施設	金屋上松元46-9	57-2484
弘前地区消防事務組合東消防署・碓ヶ関分署	碓ヶ関鯨森67-2	45-2240	李平地区集落改善センター	李平上安原62-1	57-4449
火災情報テレホン		33-9119	蒲田地区担い手センター	蒲田本宮31	57-4703
救急医療情報		32-3999	新山地区担い手センター	新山岡部68	57-4715
<b>2.公民館・集会施設</b>			長田地区担い手センター	長田沼田32-2	57-4240
平川市平賀公民館	光城2丁目30-1	44-1221	新屋町会館	新屋町松下86-4	57-4505
平川市葛川地区公民館	葛川家岸10-2	55-2107	日沼地区コミュニティ施設	日沼高田104-2	57-2498
平川市尾上公民館	尾上栄松37	57-3037	南田中集落会館	南田中北原23-1	57-4516
平川市東公民館	南田中西原130	57-4751	高木集落会館	高木原田63	57-4606
平川市猿賀公民館	猿賀遠林1-2	57-4478	中佐渡集落会館	中佐渡前田32-1	57-5278
平川市碓ヶ関公民館	碓ヶ関三笠山78	46-2104	船岡集会所	碓ヶ関久吉二ノ渡22-69	45-2154
平川市古懸地区公民館	碓ヶ関古懸南不動野8-3	45-2855	<b>3.文化・体育施設</b>		
平川市久吉地区公民館	碓ヶ関久吉積ヶ平71-1	45-2553	平川市文化センター	光城2丁目30-1	44-1221
平川市平賀農村環境改善センター	新館野木和20-1	44-7317	平川市文化ホール	"	44-1221
平川市克雪管理センター	葛川家岸10-2	55-2107	平川市平賀図書館	"	44-7665
苗生松多目的集会所	館田西和田205-3	44-8588	平川市郷土資料館	"	44-1221
平田森多目的集会所	平田森稲村39-1	44-8264	平川市生涯学習センター	猿賀南田15-1	57-5980
新屋多目的集会所	新屋栄館54-6	44-3966	平川市尾上図書館	"	"
広船地区構造改善センター	広船福田207	44-8174	平川市平賀総合運動施設	新館野木和48	43-0660
柏木町コミュニティセンター	柏木町東田167-58	44-4523	屋内運動場	"	"
温川地区多目的集会所	切明津根川森1-39	55-2557	テニスコート	"	"
唐竹多目的集会所	唐竹葎原178-13	44-2620	屋内温水プール	"	43-0665
大光寺コミュニティセンター	大光寺三村井70-3	44-6898	体育館	新館野木和18-1	43-0660
平成町コミュニティセンター	小和森上松岡184-2	44-5459	グラウンド	"	"
本町コミュニティセンター	本町南柳田84-2	44-7671	平川市おのえスポーツセンター	新屋町北鶉野15-1	57-4633
大坊コミュニティセンター	大坊竹内225	44-3134	尾上B&G海洋センター	"	"
光城コミュニティセンター	光城6丁目8	44-0252	体育館・プール・武道館	"	"
小国コミュニティセンター	小国川原田2-1	55-2580	ジョイフルスポーツプラザおのえ	"	"
荒田農業研修センター	荒田駒田159-2	44-4538	野球場・テニスコート・イベント広場	"	"
原田農業研修センター	原田今井121-2	44-7471	平川市尾上体育館	中佐渡南田95-4	57-4705
三町会農業研修センター	小杉稲村87-1	44-8583	平川市屋内プール(ゆうえい館)	碓ヶ関高田20-3	49-5181
松館農業研修センター	松館浅井29-2	44-8120	平川市平賀学校給食センター	新館野木和63-1	44-2835
館田地区農業推進拠点施設	館田前田289-2	44-5428	平川市尾上学校給食センター	南田中北原58-72	57-2428
新館集落センター	新館藤巻43-1	44-7774	<b>4.学校</b>		
岩館地区構造改善センター	岩館下り松96	44-3089	平賀幼稚園	荒田上駒田158-2	44-3111
沖館地区産地機能増進人材養成施設(鳥海会館)	沖館長田21-4	44-2935	平川市立金田小学校	南田中北原120-1	57-3010
平賀農村婦人の家	館山上亀岡1-2	44-8170	平川市立猿賀小学校	猿賀明堂136-2	57-3020
尾上農村婦人の家	原大野34-2	57-4712	平川市立柏木小学校	柏木町柳田8-2	44-3047
平賀地区農村交流活性化施設(飛鳥会館)	町居横山341-2	44-8193	平川市立大坊小学校	岩館下り松72-2	44-3128
農村振興総合整備事業コミュニティ施設(杉館集会所)	杉館宮元72-2	44-6896	平川市立小和森小学校	大光寺二村井166	44-3149
小和森多目的研修集会施設	小和森松村4-1	44-8171	平川市立松崎小学校	館山上亀岡5-1	44-3154
石郷多目的研修集会施設	石郷村元261	44-7773	平川市立竹館小学校	沖館永田34-3	44-3013
向陽多目的研修集会施設	高畑前田117	44-8173	平川市立広船小学校	広船福田354	44-3147
尾崎多目的研修集会施設	尾崎浅井99-1	44-8125	平川市立平賀東小学校	尾崎川合69	44-2628
切明コミュニティセンター	切明坂本54-2		平川市立碓ヶ関小学校	碓ヶ関三笠山127-23	45-2311
四ツ屋集会所	四ツ屋亀田78-2		平川市立小国小中学校	小国川原田12-1	55-2434
			平川市立葛川小中学校	葛川家岸13	55-2414

施設名	住所	電話(市外0172)
平川市立尾上中学校	中佐渡南田49	57-3220
平川市立平賀西中学校	大光寺白山13-2	44-3018
平川市立平賀東中学校	新館後野104-1	44-3049
平川市立碓ヶ関中学校	碓ヶ関三笠山100-2	45-2201
県立柏木農業高等学校	荒田上駒田130	44-3015
県立尾上総合高等学校	高木松元7-6	57-3500

### 5. 幼児・児童施設

平川市立葛川保育所	葛川田の沢口5-1	55-2858
平川中央保育園	柏木町東田65-2	44-2624
平賀保育園	本町平野45-1	44-3078
松崎保育園	苗生松下東田161-2	44-3168
大坊保育園	大坊前田137-2	44-3120
高城保育園	高畑熊沢164-3	44-3121
町居保育園	町居西田199-4	44-3174
あらや保育園	新屋平野13-1	44-3170
からたけ保育園	新館東山102-2	44-8222
平賀あすなろ保育園	広船福田137-17	44-8181
尾上保育園	原上原24-6	57-3330
はすね保育園	猿賀明堂139-1	57-3430
日の出保育園	南田中北原58-86	57-3431
碓ヶ関中央保育園	碓ヶ関三笠山100-6	45-2001
平川市平賀児童館	柏木町藤山16-1	44-1111
平川市尾上児童館	猿賀南田96-3	57-5311
碓ヶ関コミュニティ児童館	碓ヶ関鯨森90-1	45-2112

### 6. 医療施設

平川市国民健康保険平川診療所	柏木町藤山47-1	44-3101
平川市国民健康保険葛川診療所	葛川田の沢口5-1	55-2404
須藤病院	柏木町藤山37-5	44-3100
黎明郷(財)リハビリテーション病院	碓ヶ関湯向川添30	45-2231
阿部医院	柏木町藤山37-8	44-3155
菊池医院	本町村元71	44-2645
しらと医院	柏木町藤山7-18	44-5111
津軽保健生協平賀診療所	柏木町柳田248-2	44-1301
ふくしまクリニック	小和森種取23-2	43-1215
櫛引医院	町居山元95-3	43-1277
おのえ診療所	中佐渡南田15-10	43-5885
齋藤医院	八幡崎本林11	57-3308
花田医院	尾上栄松286	57-3528
いとう外科内科クリニック	尾上栄松132-6	57-5850
清藤歯科医院	本町平野46-12	44-3177
清藤歯科医院	尾上栄松55	57-3011
清藤歯科平賀医院	本町北柳田21-3	44-3132
岩淵歯科	本町北柳田11-1	44-3164
工藤歯科医院	柏木町藤山11-6	44-6123
あずまデンタルクリニック	柏木町東田313-8	44-0648
碓ヶ関歯科医院	碓ヶ関山神堂113-3	46-2572
さとう歯科クリニック	南田中北林元37-1	57-5888
すぎた歯科クリニック	中佐渡南田18-16	57-5757

### 7. 保健・福祉・衛生施設

平川市健康センター	柏木町藤山16-1	44-1111
平川市尾上地域福祉センター	猿賀南田96-3	57-5311
平川市尾上保健センター	"	44-1111
平川市碓ヶ関地域福祉センター	碓ヶ関三笠山120-1	45-2725
平川市碓ヶ関保健センター	"	44-1111
平川市老人福祉センター	柏木町藤山34-1	44-7318
平川市高齢者ふれあいセンター	新館野木和18-1	44-2280

施設名	住所	電話(市外0172)
平川市東部地区デイサービスセンター	葛川田の沢口5-1	59-7020
平川市高齢者世話付住宅	碓ヶ関鯨森60-2	49-5044
平川市生きがい活動拠点施設	柏木町藤山34-46	
ふれあいプラザ沖館	沖館長田220-1	
ふれあいプラザ新屋	新屋栄館232	
ふれあいプラザ向陽	高畑前田119-2	
ふれあいプラザ本町	本町南柳田92	
大光寺ふれあいプラザ	大光寺三村井70-3	
平川市ふれあいセンター	金屋上松元63-19	
平川市社会福祉協議会	柏木町藤山16-1	44-5937
平賀支所	柏木町藤山16-1	44-5907
居宅介護支援事業所	"	"
尾上支所	猿賀南田96-3	57-5311
尾上在宅介護支援センター	"	57-5351
碓ヶ関支所	碓ヶ関三笠山120-1	45-2725
碓ヶ関在宅介護支援センター	"	45-2182
グループホームあいのり	碓ヶ関西碓ヶ関山185	49-5678
グループホーム岩木望おのえ	原上原24-4	57-5720
グループホームおのえ	中佐渡上石田36-1	43-5227
デイサービスセンターおのえ	"	"
グループホームなごみ	柏木町藤山30-35	43-0505
デイサービスセンターなごみ	"	"
グループホームサンライフ碓ヶ関	碓ヶ関鯨森90-1	49-5070
デイサービスセンター碓ヶ関	"	49-5071
訪問看護ステーションなごみ	柏木町藤山34-23	44-0753
グループホームあいのさと	唐竹毎原71-2	44-1223
株式会社夢萼(ユイ)の家	本町平野41-39	43-1125
グループホームサンライフ三笠	館田西和田201-2	44-8010
デイサービスあすかの湯	町居西田111-1	43-1165
グループホームあすか	"	"
グループホームもみじの森	猿賀石林37-3	43-5213
グループホームいずみ	李平上山崎53-1	57-5110
ふるさと温泉	唐竹堀合59-2	44-0155
介護老人保健施設三笠ケアセンター	館田西和田200	44-8811
三笠訪問看護ステーション	"	44-8282
デイサービスセンター三笠	"	44-8833
三笠在宅介護支援センター	"	44-8877
介護老人保健施設のぞみ	李平上山崎54-1	57-5100
介護老人保健施設つがる	碓ヶ関湯向川添30	45-2231
グループホーム太陽の家	沖館向野91-1	43-0080
特別養護老人ホームさわやか園	日沼樋田85	43-5432
在宅介護支援センターさわやか園	"	"
デイサービスセンターさわやか園	"	"
特別養護老人ホーム緑青園	沖館和田84	44-7588
平賀デイサービスセンター	"	44-7400
平賀在宅介護支援センター	"	44-6116
生活支援ハウス昭和ロイヤルハウス	館田中前田18-10	44-1616
軽費老人ホーム西十和田プリンスコート	館田中前田315	44-1511
有料老人ホーム厚生年金青森おのえ荘	猿賀池上100	57-3135
身体障害者授産施設旭光園	猿賀明堂255	57-5155
知的障害者更生施設青葉寮	唐竹高田45	44-8231
知的障害者授産施設カリフラワー	館山前田80-1	44-0033

### 8. 農業関係

平川市平賀育苗施設	小和森中松岡102-1	44-6315
平川市碓ヶ関育苗施設	碓ヶ関水留11-1	45-2222
平川市平賀農産物集出荷貯蔵施設	小和森中松岡134-1	44-6315
平川市碓ヶ関農産物加工施設	碓ヶ関古懸向安田4-1	45-9230
津軽尾上農業協同組合	原大野36-1	57-3511(代)

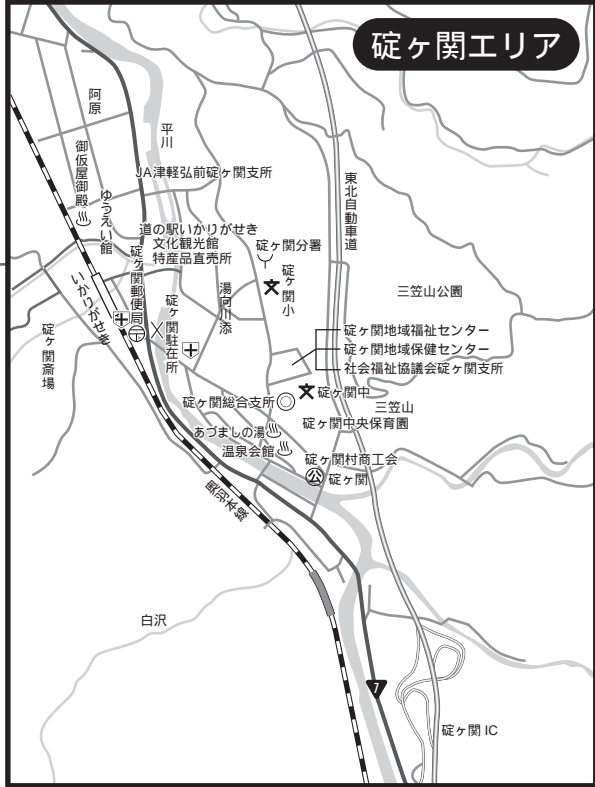
施設名	住所	電話(市外0172)
津軽みなみ農業協同組合 アグリアス	本町北柳田23-8 小和森上松岡211-1	44-6081(代) 44-1210(代)
つがる弘前農業協同組合碓ヶ関支店 県つがる農産物加工センター	碓ヶ関阿原30 光城3丁目23-1	45-2031(代) 44-8800
<b>9. 観光・温泉施設</b>		
平川市ねぶた展示館	柏木町藤山16-1	44-1111
平川市滝の沢ふれあい館	切明津根川森国林79林班内	
平川市尾上農村環境改善センター「さるか荘」	猿賀池上45-1	57-5316
平川市ふるさとセンター	猿賀石林94	57-4388
平川市四季の蔵「もてなしロマン館」	猿賀石林10-1	43-5610
道の駅「いかりがせき」津軽関の庄」	碓ヶ関碓石13-1	49-5020
平川市温泉交流館「御飯屋御殿」	碓ヶ関阿原23-2	46-9355
平川市久吉温泉自然休暇村たけのこの里	碓ヶ関東碓ヶ関山1-128	45-3131
平川市碓ヶ関温泉会館	碓ヶ関鯨森8-1	45-2226
平川市古懸コミュニティ浴場	碓ヶ関古懸門前屋岸10-2	45-2300
平川市久吉たけのこ温泉	碓ヶ関久吉積ヶ平159-11	46-2177
白岩森林公園森の家	尾崎黒倉沢1-1	44-2611
志賀坊ふれあい館	広船嘉瀬沢47-1	44-2941
盛美園	猿賀石林1	57-2020
清藤氏書院庭園	〃	57-2127
芦毛沢温泉	唐竹芦毛沢5	44-2336
ホテルアップルランド南田温泉	町居南田166-3	44-3711
新屋温泉(有)	新屋平野84-14	44-8767
フラワーランド憩いの温泉	新屋町道ノ下35-2	57-5678
柏木温泉	柏木町柳田227-1	44-7600
唐竹温泉	唐竹川原田4-3	44-3748
大坊温泉(有)大坊保養センター	大坊竹内28-1	44-2245
鷹の羽温泉	本町村元228-3	44-4526
館田温泉	館田前田278-3	44-8565
花の湯	岩館長田97-1	49-7311
平賀観光温泉利用組合	町居山元304-1	44-8585
松崎温泉	松崎西田27-1	44-8251
からんころん温泉	館山板橋19-2	44-4210
大和温泉	中佐渡南田1-2	57-2852
厚生年金青森おのえ荘	猿賀池上100	57-3135
つがる温泉	八幡崎松橋20-2	57-4511
あづましの宿関の湯	碓ヶ関三笠山82	45-2244
秋元温泉	碓ヶ関西碓ヶ関山1-26	45-2137
でわの湯湯の沢山荘	碓ヶ関西碓ヶ関山1-17	45-2531
なりや温泉	碓ヶ関西碓ヶ関山	45-2402
温川山荘	切明津根川森1-32	55-2314
古遠部温泉	碓ヶ関西碓ヶ関山1-467	46-2533
津刈温泉	碓ヶ関東碓ヶ関山1-50	46-2511
羽州路の宿あいのり	碓ヶ関西碓ヶ関山185	49-5005
碓ヶ関温泉旅館組合	碓ヶ関西碓ヶ関山1-467	45-2220
平賀地区温泉旅館組合	柏木町柳田227-1	44-7600
いわなの村	切明滝の森3-1	55-2036
津軽高原ゴルフ場	小国深沢18-42	44-4111
びわの平ゴルフ倶楽部	切明壺沢16-1	55-2011
<b>10. 斎場・墓地</b>		
平川市やすらぎ聖苑(火葬場)	新屋町田川204-1	43-5052
平川市碓ヶ関斎場	碓ヶ関白沢241	45-2856
新館公営墓地	新館東山117他	44-1111
新屋町公営墓地	新屋町道ノ下10-5	〃
碓ヶ関第1区公営墓地	碓ヶ関山神堂44-1他	〃
碓ヶ関第2区公営墓地	碓ヶ関白沢176-2	〃
碓ヶ関第3区公営墓地	碓ヶ関白沢314-1他	〃

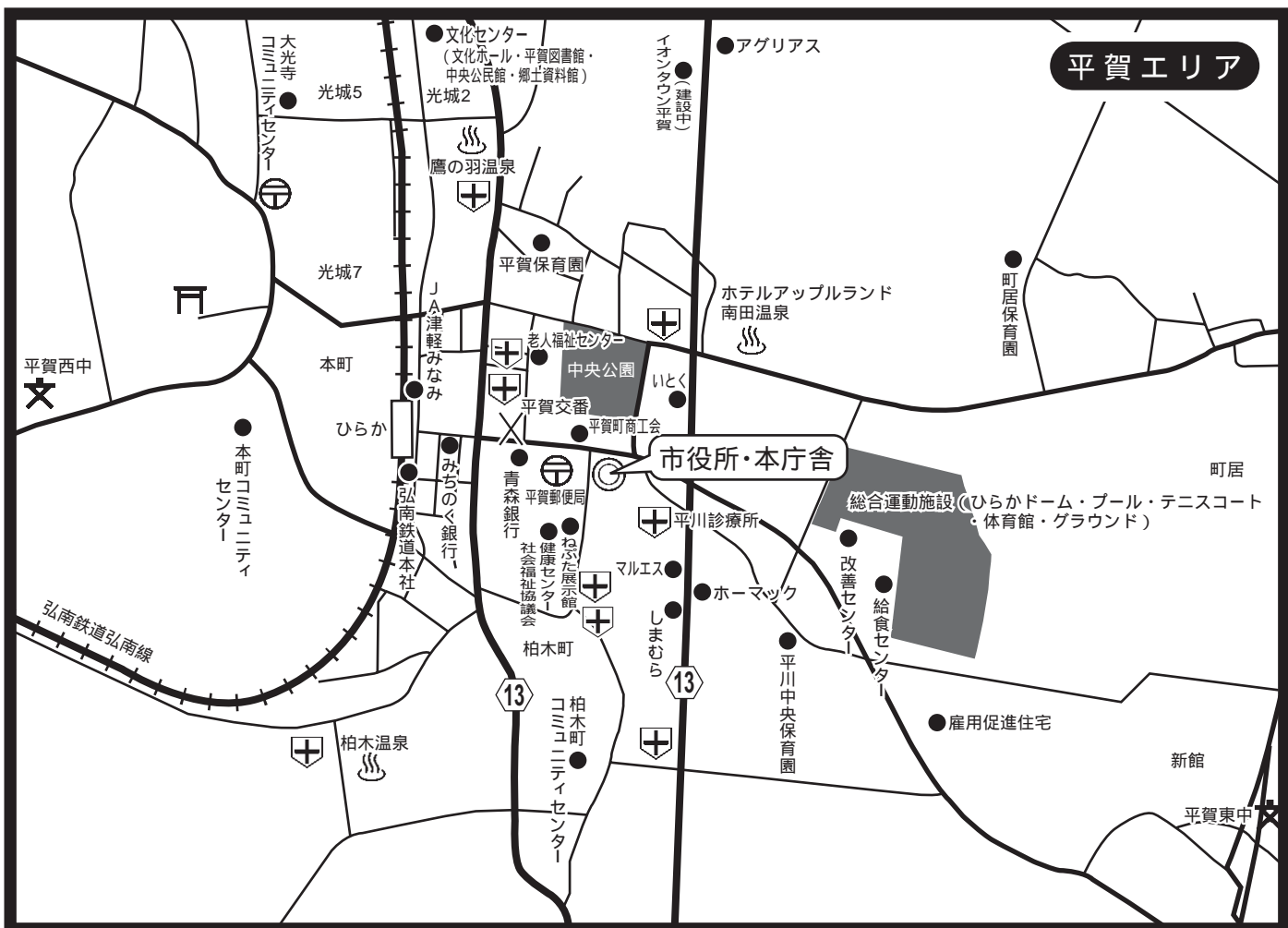
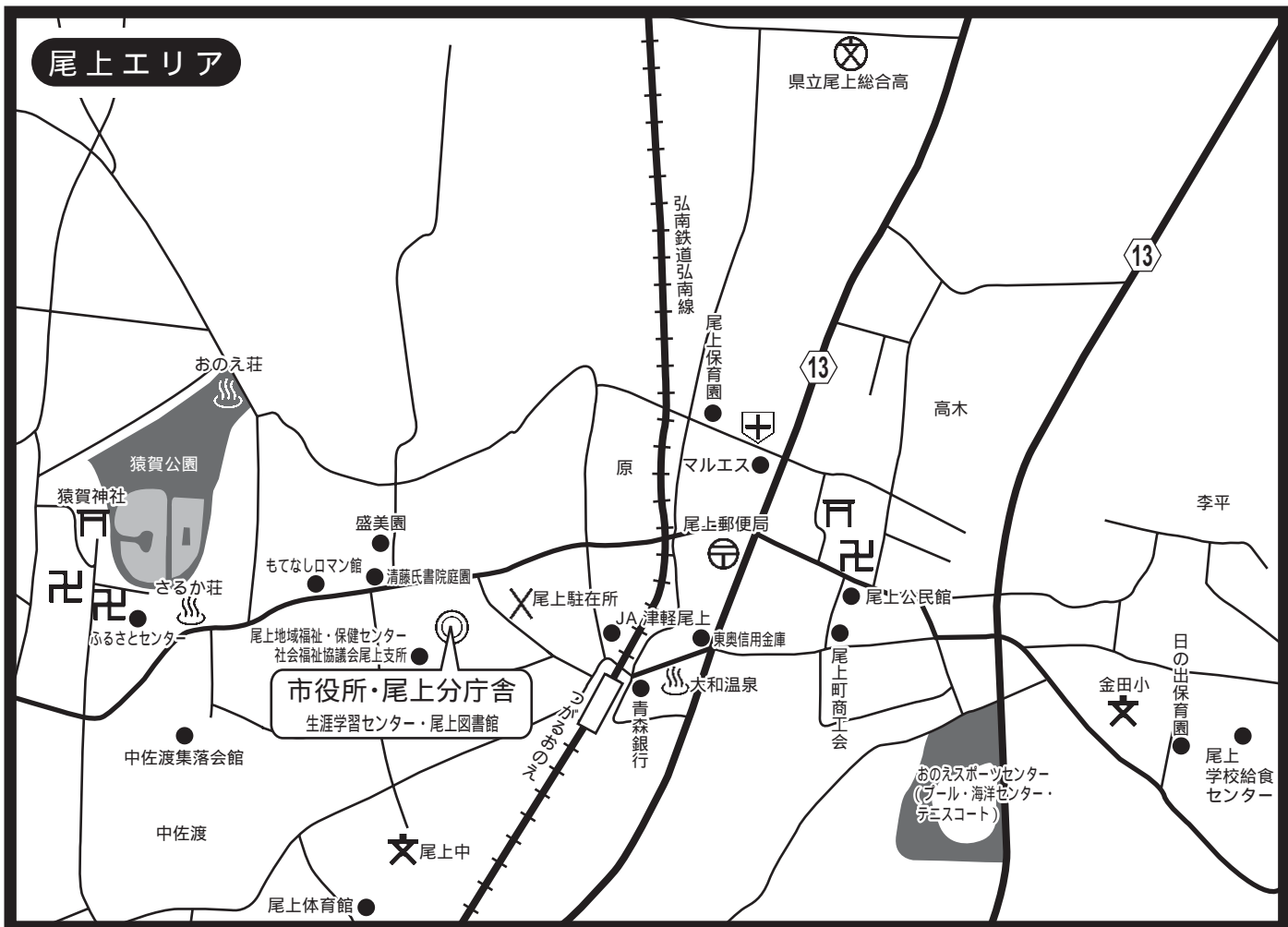
施設名	住所	電話(市外0172)
古懸地区公営墓地	碓ヶ関古懸門前69他	〃
船岡地区公営墓地	碓ヶ関踏田切55-28	〃
久吉地区公営墓地	碓ヶ関久吉山岸17-6	〃
<b>11. 市営住宅</b>		
西の平団地	苗生松下東田41-2	
1~5号棟	〃	
集会施設	〃	44-4528
<b>12. 交通機関</b>		
日本道路公団東北支社碓ヶ関料金所	碓ヶ関諏訪平52-1	46-2175
弘南鉄道株式会社平賀駅	本町北柳田23-5	44-3031
JR東日本碓ヶ関駅	碓ヶ関高田13	45-2130
弘南バス株式会社 大鰐車庫	大鰐町長峰山辺92-4	48-3448
<b>13. 警察関係</b>		
黒石警察署		
平賀交番	柏木町藤山29-22	44-3048
碓ヶ関駐在所	碓ヶ関山神堂123-2	45-2230
尾上駐在所	猿賀南田110-5	57-3200
日沼駐在所	日沼高田104-11	57-3410
松崎駐在所	松崎亀井22-5	44-2629
高速道路交通警察隊碓ヶ関分駐隊	碓ヶ関諏訪平52-1	46-2178
<b>14. その他</b>		
平賀町商工会	柏木町藤山27-2	44-3055
尾上町商工会	尾上栄松37-1	57-2317
碓ヶ関村商工会	碓ヶ関鯨森8-3	45-2044
平川市建設協会	新館藤山135	44-7286
平川市シルバー人材センター	柏木町藤山34-1	44-7318
青森銀行		
平賀支店	柏木町藤山27-1	44-2601
尾上支店	中佐渡南田16-1	57-3211
あおもり信用金庫碓ヶ関支店	碓ヶ関80-1	45-2021
東奥信用金庫		
平賀支店	本町平野16-5	44-3151
尾上支店	尾上栄松86-1	57-3311
みちのく銀行平賀支店	本町北柳田12	44-3141
平賀郵便局	柏木町藤山25-28	44-3112
平賀本町郵便局	大光寺三村井13-62	44-3220
平賀新屋郵便局	新屋栄館172	44-3225
唐竹簡易郵便局	唐竹堀合25-4	44-3223
葛川簡易郵便局	葛川大川添27-5	55-2244
尾上郵便局	尾上栄松94-2	57-3433
金屋簡易郵便局	金屋中松元46	57-2777
碓ヶ関郵便局	碓ヶ関山神堂110	45-2330
平賀りんご商業協同組合	本町西宮136-1	44-3116
尾上りんご商業協同組合	中佐渡南田54-2	57-3411
平川土地改良区	館田前田14-8	44-3123
六羽川土地改良区	柏木町柳田210	44-3137
県遠部ダム現場管理棟	碓ヶ関西碓ヶ関山	45-2218
久吉ダム現場管理棟	碓ヶ関東碓ヶ関山1-106	46-2877
弘前土木事務所遠部・久吉ダム管理所	碓ヶ関山神堂87-7	46-2014
津軽森林管理署		
碓ヶ関森林事務所	碓ヶ関鯨森75-2	45-2254
久吉森林事務所	〃	45-2040
葛川森林事務所	葛川家岸5-2	55-2034

# 平川市マップ



## 碓ヶ関エリア





# 市章



平成 18 年 1 月 1 日 設定  
(デザイン：大阪府 深川重一氏)

平川（ひらかわ）市の「ひ」をモチーフにデザインされました。「豊かな自然」「豊かな実り（りんご）」「元気な市民」をイメージするとともに、未来に向かって飛躍する同市・市民が親しみやすくシンボライズされています。

## 市の花・鳥・木

平成 19 年 1 月 1 日 制定

市民に親しまれ、歴史、文化、自然になじみが深く、市を象徴する「花、鳥、木」を広報紙や市ホームページ等で募集した結果、花に「りんごの花」・鳥に「うぐいす」・木に「くろまつ」に一番多くの応募が寄せられ、制定に係わる検討機関の市総合計画審議会での審議を踏まえて、それらを市の花・鳥・木として制定しました。

### りんごの花

基幹産業が農業であるわが市の主力は「りんご」で市全体の耕地面積の約 4 割を占めています。

5 月上旬から咲き始めるりんごの花は、白と薄いピンク色をした花弁で、美しく可憐です。果実はもちろんりんごの花も、市民から愛されています。



### うぐいす

「ホーホケキョ」と鳴く声は、春のおとずれを感じさせ日本三鳴鳥と称されるほど美しく、市民に安らぎを与えてくれます。山間部では、間近で見ることができ、身近でとても可愛い小鳥です。



### くろまつ

盆栽や庭園の木として古くからなじみがあり、黒褐色の樹皮、長くて硬い針葉、そして太い枝振り、剛強な印象があり、「雄松」という異称を持っています。造園のまちとしての象徴でもあります。



2007年版 平川市 市勢要覧  
Hirakawa City Guide Book

発行 青森県平川市

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25-6

TEL 0172-44-1111

編集 平川市企画財政部企画財政課

ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/>

制作 株式会社陸奥新報社